

HDVTR スタジオ用アタッチメント

MULTI CONTROL INTERFACE MCI-3200

取扱説明書

(VER H01 S0100-15)

作成2007/10/09

改訂2007/10/11

改訂2007/12/11

改訂2008/04/30

武蔵 株式会社

- 目次 -

| | |
|---|---------|
| 1 . 適用 | P . 2 |
| 2 . 概要 | P . 2 |
| 3 . フロントパネル | P . 3 |
| 4 . MENU 操作パネル | P . 2 0 |
| 5 . リアパネル | P . 2 2 |
| 6 . コネクター・サイン | |
| 6-1 . REM-1 コネクター | P . 2 7 |
| 6-2-1 . VTR PARALLEL コネクター (HDW-1800 / 2000 シーズの設定) | P . 2 9 |
| 6-2-2 . VTR PARALLEL コネクター (HDW-500 の設定) | P . 2 9 |
| 6-3 . PARALLEL OUT コネクター | P . 3 2 |
| 6-4 . VTR REMOTE コネクター | P . 3 2 |
| 6-5 . EDIT UNIT コネクター | P . 3 3 |
| 6-6 . REM-2 コネクター | P . 3 3 |
| 6-7 . CUE OUT コネクター | P . 3 4 |
| 6-8 . TALLY IN コネクター | P . 3 4 |
| 6-9 . TALLY OUT コネクター | P . 3 4 |
| 7 . MENU | |
| 7-1 . MENU 設定について | |
| バージョン情報及び各 VTR 及び ATMT 設定 | P . 3 5 |
| CONFIG BANK 設定 | P . 3 8 |
| ERROR LOG 設定 | P . 3 9 |
| COMMAND LOG 設定 | P . 4 3 |
| PQ-REC 設定 | P . 4 6 |
| PQ-PB 設定 | P . 4 6 |
| BEEP 設定 | P . 4 7 |
| ON AIR 設定 | P . 4 8 |
| REM-1 設定 | P . 4 9 |
| その他の設定 | P . 5 0 |
| SYSTEM 設定 | P . 5 1 |
| 7-2 . MENU の初期化について | P . 5 3 |
| 7-3 . ERROR 表示について | P . 5 4 |
| 8 . その他の機能 | P . 5 5 |
| 9 . PQフォーマット | |
| 9-1 . HDD5-VTR ストップコード記録フォーマット | P . 5 6 |
| 9-2 . HDD5-VTR 確認用キュー記録フォーマット | P . 5 6 |
| 9-3 . HDCAM-VTR ストップコード記録フォーマット | P . 5 7 |
| 9-4 . HDCAM-VTR 確認用キュー記録フォーマット | P . 5 7 |
| 9-5 . ストップコードの記録データ内容 | P . 5 8 |
| 10 . PQ REC シケンス | |
| 10-1 . HDD5-VTR | P . 5 9 |
| 10-2 . HDCAM-VTR | P . 6 0 |
| 11 . PQ PB シケンス | P . 6 1 |
| 12 . TEST REC シケンス | P . 6 1 |
| 13 . RIS シケンス | |
| 13-1 . RIS | P . 6 2 |
| 13-2-1 . HDD5-VTR での RIS 完了後の REC による自動 PQ REC | P . 6 3 |
| 13-2-2 . HDCAM-VTR での RIS 完了後の REC による自動 PQ REC | P . 6 4 |
| 14 . 一般仕様 | P . 6 5 |
| 15 . 外観図 | P . 6 6 |
| 16 . 接続例 | P . 6 7 |
| 17 . 各 VTR 設定の違いと注意点 | P . 6 9 |

1. 適用

本装置は武蔵製 ATTACHMENT(MCI-3200)について規定します。

尚、本仕様書に掲載されている動作内容は、各スイッチ及びメニュー設定等により異なる場合があります。

対象機種：Panasonic 製 VTR (AJ-HD580, 2000, 3000, 3700H/A/B, 3730)

音声 8ch 対応 HDD5-VTR に音声 8ch テープを挿入した場合も、対応可能です。
D3 再生互換 HDD5-VTR に D3 テープを挿入した場合も、PQ-PB 動作を含む各種動作が可能です (REC 動作は対象外)

：SONY 製 VTR (HDW-500, A2100, 2000, S2000, M2000, 1800*)

ベータカムテープ再生互換機 VTR にベータカムテープを挿入した場合は、PQ 関連動作、RIS 動作は動作対象外とします。(再生、早送り、巻き戻しなどの基本動作は可能)

* HDW-1800 は VTR に CUE 入力端子が無いので注意が必要です。17-3 参照

2. 概要

MCI-3200 の主な機能は下記の通りです。

< LOCAL CONTROL 機能 >

- ・ ストップコードの検出機能を装備しています。
- ・ ストップコードの記録 / 消去機能を装備しています。
- ・ その他、TEST REC 等各種の動作が実行出来ます。

< REMOTE CONTROL 機能 >

- ・ 放送制御コンピューター等からのパラレル制御が可能です。

< EDIT CONTROL 機能 >

- ・ 編集用インターフェースで直接編集機からの指示で VTR の制御が可能です。

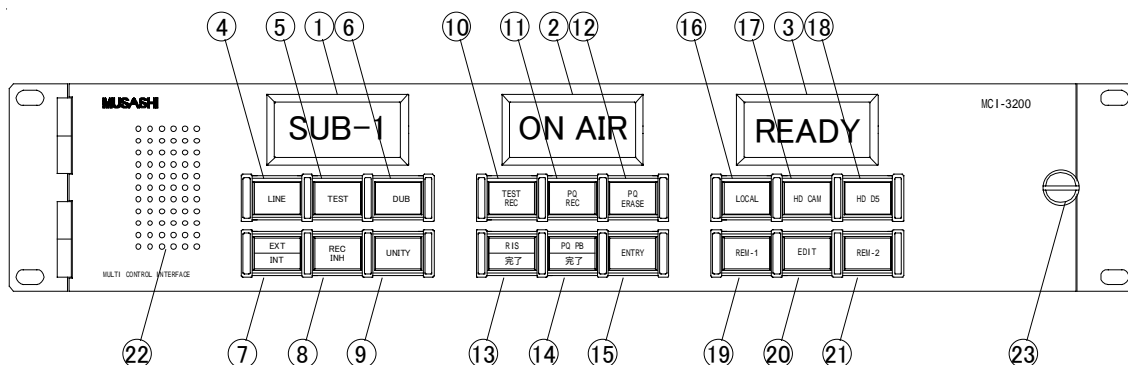
< OA TALLY 機能 >

- ・ OA TALLY 入力として TALLY IN コネクターを装備しています。
- ・ 外部 TALLY PANEL 用に TALLY OUT コネクターを装備しています。
- ・ フロントパネルに OA TALLY 用表示灯を装備しています。

< その他の機能 >

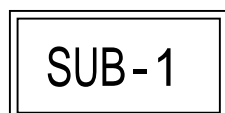
- ・ リファレンスは 3 値 SYNC 1125 / 59.94Hz、525 i / 59.94 B.B に対応しています。

3. フロントパネル



MCI-3200 の機能を使用する時は VTR 本体の REMOTE-1(9P)スイッチ、REMOTE-2(50P)スイッチを ON (点灯) に設定して下さい。* VTR の不揮発性 RAM に所定の設定が必要になります。

3-1. 号機表示灯 (上記外観図)



スクリーン色 : 乳白色
LED 色 : アパ[®]-色

- (a) MCI-3200 の電源投入時、表示灯はアパ[®]-色で点灯します。
- (b) リファレンス信号がない時及び、VTR がローカル状態の時は点滅します。
- (c) VTR の障害 (HARD ERROR)、アタッチメントの障害が発生した場合、表示灯はアパ[®]-色で点滅し警告音を出します。
ENTRY スイッチを押すことにより警告音を消すことができます。
アラーム表示は、HARD ERROR が無くなるまで解除されません。

3-2. ON AIR 表示灯 (上記外観図)



スクリーン色 : 乳白色
LED 色 : 赤色・緑色混合にてアパ[®]-色

- (a) MCI-3200 の電源投入時、表示灯は消灯しています。
- (b) TALLY IN コネクターに OA TALLY を受けている間、表示灯は赤色に点灯します。
- (c) OA TALLY 強制 PLAY 実行時、VTR が LOCAL あるいはカセット未挿入時には、アパ[®]-色に点滅します。
(ENTRY スイッチを押すと点滅は停止します。)

3-3 . READY 表示灯 (上記外觀図)

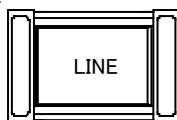


スクリーン色 : 緑色

LED 色 : 緑色

- (a) PQ-PB 完了でアタッチメントが REM-1 かつ VTR が REMOTE の時のみ点灯します。
- (b) REM-1 から EDIT または LOCAL または REM-2 に換えるとブザーが鳴り点滅します。(ENTRY スイッチを押すとブザーは停止します。)

3-4 . LINE スイッチ (上記外觀図)



接点動作 : モンタリ (ガート加付)

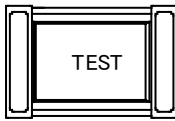
スクリーン色 : 乳白色

LED 色 : アンバー色

- (a) LOCAL 及び EDIT 時に選択可能です。
- (b) LINE 選択時、PARALLEL OUT より LINE-S を出力します。
- (c) LINE 選択時、VTR 映像入力信号を SIF に切替えます。
- (d) LINE 選択時、MENU 「 B0:LINE AUDIO IN SEL 」設定により、VTR 音声入力信号を切替える事が出来ます。
- (e) MENU 「 A0:REM-1 LINE SEL 」設定により、REM-1 スイッチを押したとき LINE に強制的に切替える事が出来ます。
- (f) MENU 「 A1:REM-2 LINE SEL 」設定により、REM-2 スイッチを押したとき LINE に強制的に切替える事が出来ます。
- (g) MENU 「 A2:EDIT SWITCHER SEL 」設定により、EDIT スイッチを押したとき LINE に強制的に切替える事が出来ます。
- (h) LINE 選択中点灯します。

VTR が LOCAL 状態から REMOTE にした場合、現在の ATMT 状態 (LINE, TEST, DUB 何れか) に戻します。

3-5 . TEST スイッチ (上記外観図)



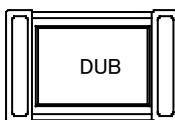
接点動作 : モンタリ (ガート加付)

スクリーン色 : 乳白色

LED 色 : アンバ色

- (a) LOCAL 及び EDIT 時に選択可能です。
- (b) VTR で設定した内部 SG (映像 100%CB ・ 音声 1KHz) に切替えます。
- (c) TEST 選択中点灯します。

3-6 . DUB スイッチ (上記外観図)



接点動作 : モンタリ (ガート加付)

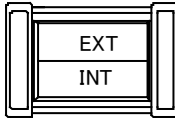
スクリーン色 : アンバ色

LED 色 : アンバ色

- (a) LOCAL 及び EDIT 時に選択可能です。
- (b) DUB 選択時、PARALLEL OUT より DUB-S を出力します。
- (c) DUB 選択時、VTR 映像入力信号を SIF に切替えます。
- (d) DUB 選択時、MENU 「 B1:DUB AUDIO IN SEL 」 設定により、VTR 音声入力信号を切替える事が出来ます。
- (e) MENU 「 A2:EDIT SWITCHER SEL 」 設定により、EDIT スイッチを押したとき DUB に強制的に切替える事が出来ます。
- (f) DUB 選択中点灯します。

VTR が LOCAL 状態から REMOTE にした場合、現在の ATMT 状態 (LINE, TEST, DUB 何れか) に戻します。

3-7 . EXT / INT スイッチ (上記外観図)

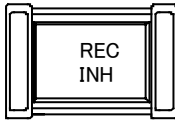


接点動作 : モーメンタリ-
スクリーン色 : 乳白 / 乳白色
LED 色 : アムバー / 緑色

- (a) LOCAL 又は REMOTE、ST-REM の時、押すごとに VTR 記録時の TC を EXT / INT と切替えます。
- (b) VTR 記録時の TC が EXT の場合、EXT がアムバー色点灯します。
- (c) VTR 記録時の TC が INT の場合、INT が緑色点灯します。
- (d) VTR 側で記録時の TC を設定しても表示が切り替わります。

REMOTE 及び ST-REM 設定時、上位からの REC マイクによる MENU 「72:REC-C TCG PRESET」は INT 設定時に行われます。

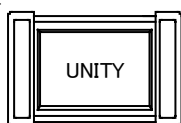
3-8 . REC INH スイッチ (上記外観図)



接点動作 : モーメンタリ-
スクリーン色 : 赤色
LED 色 : 赤色

- (a) LOCAL 時、VTR の REC INH を FREE と ALL に切り替えます。
- (b) VTR の REC INH が ALL の時に点灯します。
- (c) VTR の REC INH が FREE の時に消灯します
- (d) 装填されたテープが REC-INH(ALL)設定の場合は点灯します。
- (e) HDD5-VTR では ALL 又は FREE 以外が選択された場合は点滅します。
- (f) VTR にて REC INH を変更しても点灯 / 消灯します。

3-9 . UNITYスイッチ (上記外観図)



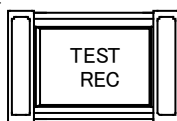
接点動作 : モノタリ
スクリーン色 : 乳白色
LED色 : アンバー色

- (a) LOCAL 時、VTR のビデオ / オーディオの入出力を UNITY に設定します。
- (b) VTR のビデオ・オーディオ入出力が1 つでも UNITY 以外に設定されると消灯します。(MENU 「01:ATMT MODE SEL」設定に点滅も可能です)
- (c) VTR のビデオ・オーディオ入出力が全て UNITY の時は点灯します。
(MENU 「01:ATMT MODE SEL」設定により消灯も可能です)
- (d) MENU 「06:UNITY SW MASK」設定にて本スイッチを有効 / 無効にするかを切替え可能です。(HDCAM の場合は無効がデフォルトになっています)

UNITY スイッチを押してから UNITY 状態に変わるまで ATMT から VTR へ設定内容を送信する関係上、約 2 秒間かかります。

各 VTR の UNITY 判定条件については、37 ページ「各 VTR の UNITY 判定条件について」を参照して下さい。

3-10 . TEST REC スイッチ (上記外觀図)

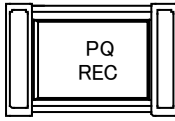


接点動作 : モンタリ-
スクリーン色 : 赤色
LED 色 : 赤色

- (a) LOCAL 時、ENTRY スイッチを押しながら、TEST REC スイッチを押すと、VTR はテープ冒頭まで自動で巻き戻しを行います。
- (b) VTR 入力を内部 SG (CB、1kHz) に切替えます。
- (c) テープ始端で STOP し、MENU「92:TEST REC TCG SET」及び「91:TEST REC PRESET」で設定した TIMECODE 値を TCG に PRESET 可能です。
- (d) MENU「90:TEST REC TIME」で設定した記録時間に従い REC した後に STOP します。この後、VTR 入力は実行前に戻します。
- (e) この一連の動作中、TEST REC スイッチが点灯します。
- (f) TEST REC 中、もう一度 ENTRY スイッチを押しながら TEST REC スイッチを押すと、TEST REC 動作を中断します。

TEST REC シークス中に ON AIR タリ-起動にて PLAY コマンドが発行されても TEST REC シークスはそのまま継続されます。

3-11 . PQ-REC スイッチ (上記外觀図)



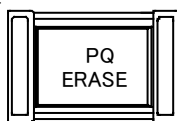
接点動作 : モンタリ-
スクリーン色 : 赤色
LED 色 : 赤色

- (a) LOCAL 選択中、VTR が STOP 状態の時、ENTRY スイッチを押しながら、PQ-REC スイッチを押すと、VTR は PQ-REC シーケンスを実行し、STOP CODE 及びが 1 用の 400Hz CUE TONE を記録します。
- (b) この一連の動作中、PQ-REC スイッチが点灯します。
(途中で記録不可になると「ピピピッ」と1ラ-終了音が鳴ります)
- (c) PQ-REC 動作中に STOPCODE を検出すると、PQ が 2 重打ちとならないように PQ-REC 動作を中止します。
- (d) MENU 「36:PQ-REC PLAYBACK」設定により、記録後自動で PQ-PB を行い、STOPCODE が記録されていることを確認することが出来ます。
- (e) PQ-REC 中、もう一度 ENTRY スイッチを押しながら PQ-REC スイッチを押すと、PQ-REC 動作を中断します。

CUE UP 中は 2 重書き禁止の為、PQ-REC 動作に入りません。

PQ-REC シーケンス中に ON AIR タリ-起動にて PLAY コマンドが発行されても PQ-REC シーケンスはそのまま継続されます。

3-12 . PQ-ERASE スイッチ (上記外観図)



接点動作 : モンタリ-
スクリーン色 : 白色
LED 色 : 赤色

- (a) LOCAL 時、PQ-PB 完了ランプ点灯中、ENTRY スイッチを押しながら PQ-ERASE スイッチを押すと VTR は PQ-ERASE シーケンスを実行し、STOP CODE 及び 400HzCUE TONE を消去します。
- (b) この一連の動作中、PQ-ERASE スイッチが点灯します。
(途中で記録不可になると「ピピピッ」とトラ終了音が鳴ります)
- (c) MENU 「36:PQ-REC PLAYBACK」設定により、消去後、自動で PQ が消去されていることを確認することができます。
- (d) PQ-ERASE 中、もう一度 ENTRY スイッチを押しながら PQ-ERASE スイッチを押すと、PQ-ERASE 動作を中断します。

PQ-ERASE シーケンス中に ON AIR タリ-起動にて PLAY マント[®] が発行されても PQ-ERASE シーケンスはそのまま継続されます。

3-13 . RIS / 完了スイッチ (上記外觀図)



接点動作 : モンタリ-
スクリーン色 : 乳白 / 乳白色
LED 色 : アンバー / 緑色

- (a) LOCAL 時、VTR が STOP の時、ENTRY スイッチを押しながら RIS スイッチを押すと VTR はテープ冒頭まで REW 後、CTL がカウント可能な速度で始端より MENU 「80:RIS FORWARD TIME」で設定した時間 - 5 秒後の位置に頭出しし、5 秒間 PLAY して STOP し、RIS 完了ランプを点灯します。
- (b) この一連の動作中、RIS スイッチがアンバー色点灯します。
- (c) RIS 動作完了で STOP したとき完了ランプが緑色点灯します。
- (d) VTR が STOP 以外になった時は、消灯します。
- (e) MENU 「82:RIS END CTL RESET」設定により VTR の CTL をリセットする事ができます。
- (f) RIS 完了表示灯が点灯状態で REC 制御が行われた場合、MENU 「85:AUTO PQ-REC TIME」で設定した秒数に自動で PQ-REC (STOPCODE と CUE TONE 記録) が実施され、PQ-REC 完了後も REC 動作を継続します。
- (g) 自動で PQ-REC をするかしないかを MENU 「84:RIS END PQ-REC」で設定可能です。
- (h) RIS 中、もう一度 ENTRY スイッチを押しながら RIS スイッチを押すと、RIS 動作を中断します。

RIS シークス中に ON AIR タリ-起動にて PLAY コマンドが発行されても RIS シークスはそのまま継続されます。

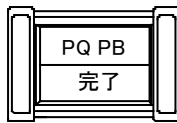
RIS 完了後の自動 PQ-REC がエラー完了した場合、ATMT エラー音を出すと共に ENTRY を点滅させます。ENTRY スイッチを押すことによりブザー音が停止し ENTRY の赤色点滅が解除されます

RIS 完了後の自動 PQ-REC は MENU 「94:AUTO PQ-REC TIME」によりフレーム単位で記録位置を微調整可能です。(デフォルト 11 秒 00 フレーム)
自動 PQ-REC 後の継続 REC 時 UBIT TCG 設定を元に戻すか否か MENU 「37:PQ-REC GEN OPT」により選択可能です。

(デフォルト NORMAL)

▲MENU37 追加(改訂2008/04/30)

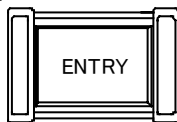
3-14 . PQ-PB / 完了スイッチ (上記外観図)



接点動作 : モーメンタリ-
スクリーン色 : 乳白 / 乳白色
LED 色 : アムバー / 緑色

- (a) LOCAL 時、ENTRY スイッチを押しながら PQ-PB スイッチを押すと、VTR は PLAY 状態になり、STOP CODE を検知すると VTR はストップします。
この時、完了ランプが緑色点灯します。
- (b) STOP 後 VTR の CTL 値を MENU「44:PQ-PB END CTLSET」及び MENU「45:PQ-PB CTL PRESET」により設定可能です。
- (c) この一連の動作中、PQ-PB ランプがアムバー色点灯します。
- (d) PQ ストップしたとき完了ランプが緑色点灯します。
- (e) 停止位置から CTL で $\pm 10F$ 以上変化した時、消灯します。
- (f) PQ-PB 中、もう一度 ENTRY スイッチを押しながら PQ-PB スイッチを押すと、PQ-PB 動作を中断します。

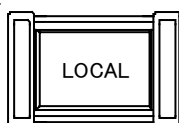
3-15 . ENTRY スイッチ (上記外観図)



接点動作 : モーメンタリ-
スクリーン色 : 乳白色
LED 色 : 赤色

- (a) LOCAL 時、各動作 (TEST REC、PQ REC、PQ ERASE、PQ PB、RIS、強制 OK) を実行する時に同時押しします。
- (b) ENTRY ランプの点滅及びブザー出力を停止します。
- (c) 押している間点灯します。
- (d) OA タリ-入力中、REMOTE 及び ST-REM から「LOCAL」または「EDIT-1」または「EDIT-2」スイッチを押下することにより点滅します。

3-16 . LOCAL スイッチ (上記外觀図)



接点動作 : モンタリ-
スクリーン色 : 乳白色
LED 色 : アンバー色

- (a) マッチメントのバツルスイッチまたは、VTR の操作バツルで操作を可能にします。
- (b) ATMT が LOCAL で VTR が REMOTE 状態かつファインズ入力供給されている時は、点灯します。
- (c) VTR が LOCAL 状態になっている時は点滅します。
- (d) リファレンス入力が無い場合は点滅します。
- (e) LOCAL が選択された場合、HD-VTR の編集モード (インサート、アッセンブルモード) を解除します。

LOCAL スイッチを押してから LOCAL に切り替わるまで ATMT から VTR へ設定内容を送信する関係上、約 1 秒間かかります。

LOCAL に切り替わると ATMT の全てのスイッチ操作が可能ですが、MENU により UNITY スイッチを無効にする事が可能です。

TEST REC、PQ-REC、PQ-ERASE シークス中は他の制御系選択は禁止されます。

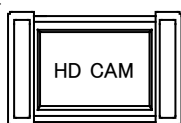
PQ-PB と RIS シークス中は REM-1 LOCAL 及び LOCAL REM-1 の選択が可能です。それ以外の制御系選択は禁止します。但し、REM-1

LOCAL に切替えた時は ATMT エラー音が鳴り ENTRY が赤色点滅します。ENTRY スイッチを押すことによりブザー音が停止し ENTRY の赤色点滅が解除されます。

各シークス中 REM-1 LOCAL に切替えた場合は動作は継続します。

各シークス中、EDIT,REM-2 には切り替わりません。

3-17 . HDCAM 表示灯 (上記外観図)



スクリーン色 : 白色

LED 色 : アンバー色

- (a) ATMT の制御対象 VTR 設定が HDCAM 選択時のみ点灯します。
- (b) ATMT の VTR 設定は、MENU 「02:FORMAT SEL」にて行います。

3-18 . HD D5 表示灯 (上記外観図)

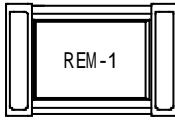


スクリーン色 : 白色

LED 色 : アンバー色

- (a) ATMT の制御対象 VTR 設定が HD D5 選択時のみ点灯します。
- (b) ATMT の VTR 設定は、MENU 「02:FORMAT SEL」にて行います。

3-19 . REM-1 スイッチ (上記外観図)



接点動作 : モンタリ-
スクリーン色 : 白色
LED 色 : アンパ-色

- (a) REM-1 端子からのコマンドにより制御します。
- (b) VTR が REMOTE 状態で ATMT が REM-1 選択時のみ点灯します。
- (c) REM-1 選択状態で VTR が LOCAL になっている時、又は VTR REMOTE に何も接続されていない場合は点滅します。
- (d) REM-1 が選択された場合、HD-VTR の編集モード (インサート、アッセンブルモード) を解除します。

REM-1 スイッチを押してから REM-1 に切り替わるまで ATMT から VTR へ設定内容を送信する関係上、約 1 秒間かかります。

REM-1 選択時の PQ-REC, TEST-REC, PQ-ERASE, RIS シークス中は REM-1 からの STOP / STILL コマンドのみ受け付けます。

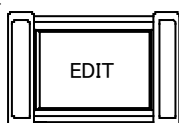
REM-1 選択時の PQ-PB シークス中は REM-1 からの REM-1 からの PLAY, FF, REW, STOP / STILL コマンドのみ受け付けます。

REM-1 選択時の REC 中は REM-1 からの STOP / STILL, TC / TM1, CTL RESET コマンドのみ受け付けます。

REM-1 選択時の PLAY 中は OA TALLY 受け付け時以外、REM-1 からのコマンドは全て受け付けます。

REM-1 選択時の REC 中に LOCAL 選択は可能ですが、それ以外には切り替わりません。

3-20 . EDIT スイッチ (上記外観図)

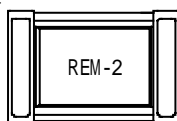


接点動作 : モニター-
スクリーン色 : 白色
LED 色 : アンバー色

- (a) EDIT 選択時、リアパネルの EDIT からのシリアル通信により VTR の制御を可能とします。
- (b) VTR が REMOTE 状態で ATMT が EDIT 選択時のみ点灯します。
- (c) VTR が LOCAL になっている時または、EDIT になにも接続されていない時、等編集機と VTR 間で通信が行われてない時、ランプが点滅します。
- (d) EDIT が選択された場合、HD-VTR の編集モード (インサート、アッセンブルモード) を解除します。

EDIT スイッチを押してから EDIT に切り替わるまで ATMT から VTR へ設定内容を送信する関係上、約 1 秒間かかります。

3-21 . REM-2 スイッチ (上記外觀図 21)

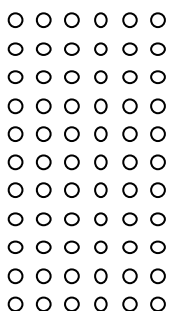


接点動作 : モニター
スクリーン色 : 白色
LED 色 : アンバー色

- (a) REM-2 選択時、REM-2 からのシリアル通信により VTR の制御を可能とします。
- (b) VTR が REMOTE 状態で ATMT が REM-2 選択時のみ点灯します。
- (c) VTR が LOCAL になっている時または、REM-2 になにも接続されていない時、等編集機と VTR 間で通信が行われてない時、ランプが点滅します。
- (d) REM-2 が選択された場合、HD-VTR の編集モード (インサート、アッセンブルモード) を解除します。

REM-2 スイッチを押してから REM-2 に切り替わるまで ATMT から VTR へ設定内容を送信する関係上、約 1 秒間かかります。

3-22 . ブザー (上記外觀図 22)



- (a) PQ-PB 時 STOP CODE を検知すると検出音 (BEEP) を出力します。
- (b) MENU の設定により BEEP1 ~ BEEP4、ブザー-OFF が選べます。

ブザー音量は以下の 5 種類です。

OFF : ブザー音なし

BEEP1 : ブザー小 VAR (フロント 補基板の RV1 で音量調整が可能)

BEEP2 : ブザー小 MAX (最大音量)

BEEP3 : ブザー大 VAR (ミニスイッチ基板の RV1 で音量調整が可能)

BEEP4 : ブザー大 MAX (最大音量)

ブザー音が選べる MENU は以下の 7 種類です。

"50:DET-BEEP SW" : STOPCODE の検出、停止音 (デフォルト BEEP1)

"53:ATMT ERR BEEP SW : ATMT 号機灯が リンクエラー時 (デフォルト BEEP 4)

"54:OPE BEEP SW" : スイッチ操作音 (デフォルト BEEP 1)

"55:OPE ERR1 BEEP SW" : スイッチ操作を受付けない音 (デフォルト BEEP 1)

"56:OPE ERR2 BEEP SW" : READY 状態からはずれ時 (デフォルト BEEP 4)

"57:CONT ERR BEEP SW" : 操作実行中エラー終了した時 (デフォルト BEEP1)

その他の STOPCODE 検出音設定

"51:DET-BEEP MODE" : 検出音を鳴らす条件の設定 (デフォルト ALL)

PQPB : PQPB 時 STOPCODE 検出音を鳴らす

ALL : 常時 STOPCODE 検出時に鳴らす

"52:DET-BEEP ON-AIR" : ONAIR 中の検出音設定 (デフォルト DISABLE)

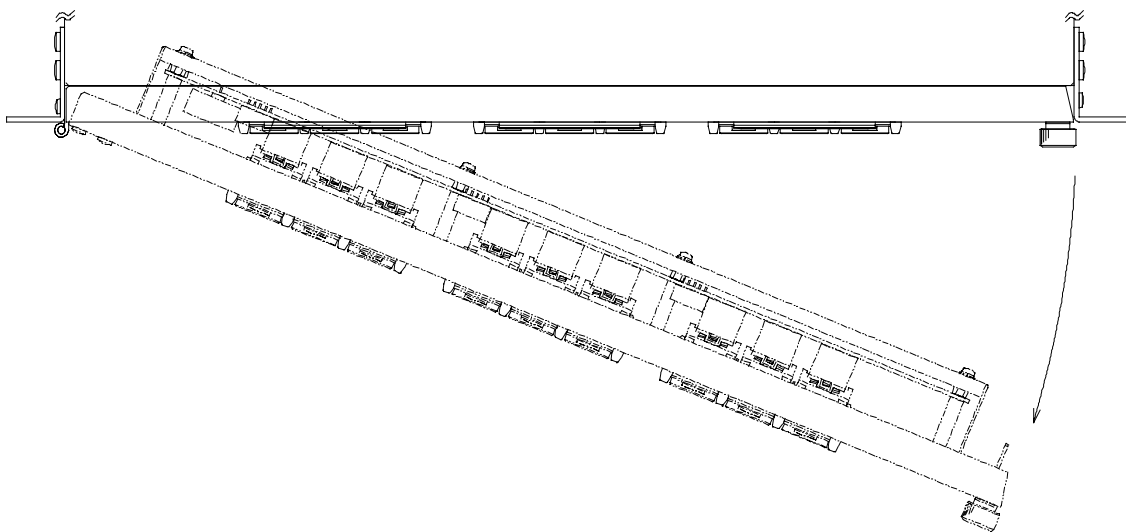
DISABLE : ONAIR 中 STOPCODE 検出音を鳴らさない

ENABLE : ONAIR 中 STOPCODE 検出音を鳴らす

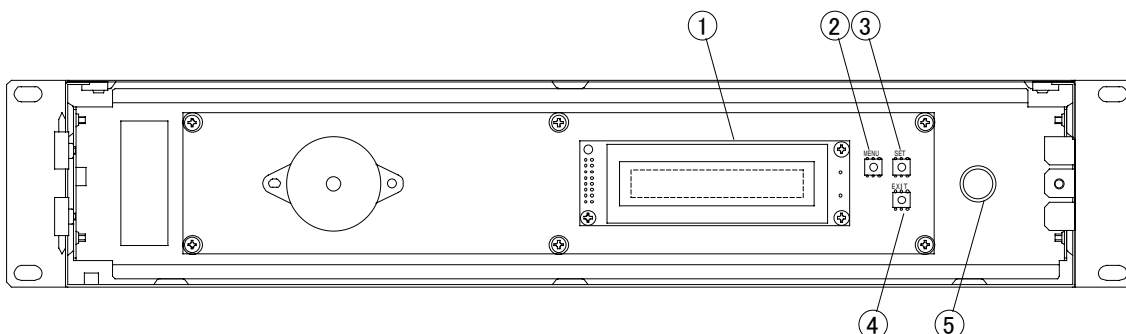
3-23 . フロントパネル固定ネジ (上記外観図 23)



- (a) フロントパネル開口部を固定するためのネジです。
- (b) MENU 設定する時は、ネジを回してフロントパネルを開きます。

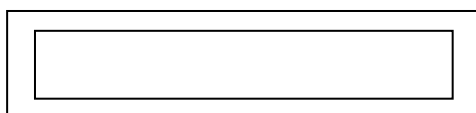


4 . MENU 操作パネル



フロントパネルは開閉式になっており、中に MENU 操作パネルがあります。

4-1 . LCD 表示器 (上記外観図)



- (a) カスタマイズ設定等を行うための MENU 表示器です。
- (b) MENU スイッチを押すことにより MENU モードに移行します。
- (c) 通常はステータス表示器として機能します。
- (d) ERROR 発生時は現在発生している ERROR 内容*がサイクリック表示されます。(複数 ERROR が同時発生してる場合、1 秒毎に現在発生している ERROR 内容が切り替わり表示されます)

*エラーコードの詳細については、「6-3 . ERROR 表示について」を参照して下さい。

4-2 . MENU スイッチ (上記外観図)



接点動作 : モンタリ-

- (a) MENU スイッチを押すと LCD 表示器にメニュー (設定項目) が表示され、MENU スイッチ上隣の LED が点灯します。
- (b) MENU スイッチ LED 点灯中 EXIT スイッチを押すことによりメニューが終了し、MENU スイッチ LED が消灯します。

4-3 . SET スイッチ (上記外観図)



接点動作 : モ-ンタリ-

- (a) SET スイッチを押すと LCD 表示器に表示されている設定項目がセットされます。
- (b) SET スイッチは押した瞬間のみ SET 上隣の LED が点灯します。
- (c) SET スイッチを押して MENU 内容が確定した時に短い音「ピッ」が鳴ります。

4-4 . EXIT スイッチ (上記外観図)



接点動作 : モ-ンタリ-

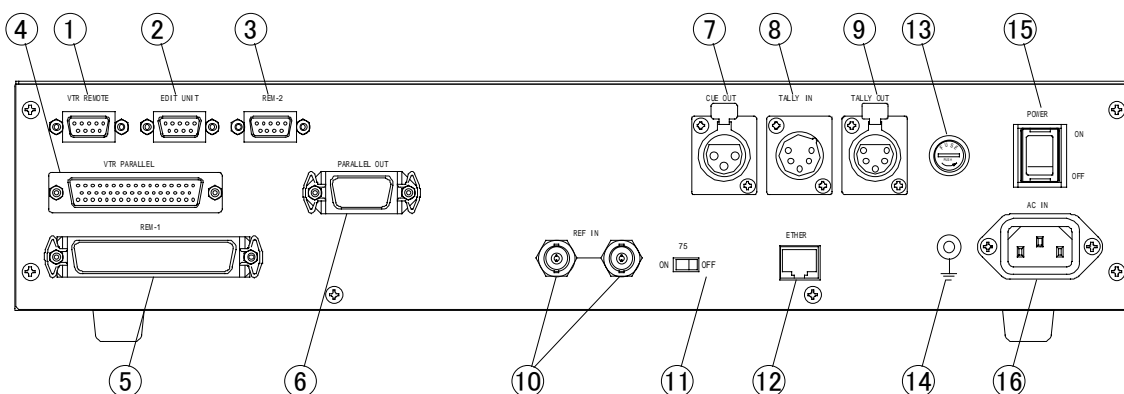
- (a) EXIT スイッチを押すと LCD 表示器に表示されている現在の設定項目をセットしないで抜けることができます。
- (b) EXIT スイッチは押した瞬間のみ EXIT 上隣の LED が点灯します。

4-5 . MENU 設定用ツミ (上記外観図)



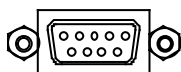
- (a) MENU 設定用ツミを回すことにより、MENU 設定項目を変更することができます。
- (b) MENU スイッチ左隣の LED 点灯中のみ機能します。

5 . リアパネル



5-1 . VTR REMOTE コネクター (上記外観図)

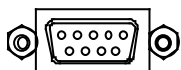
VTR REMOTE



- (a) コントロールする VTR の REMOTE-1 IN(9P)コネクターと接続します。
- (b) LOCAL 時、MCI-3200 から VTR をコントロールします。
- (c) EDIT 時、編集機などから直接 VTR をコントロールします。

5-2 . EDIT UNIT コネクター (上記外観図)

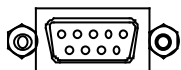
EDIT UNIT



- (a) 編集機などコントローラの REMOTE(9P)コネクターと接続します。

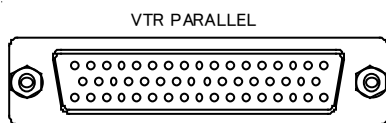
5-3 . REM-2 コネクター (上記外観図)

REM-2



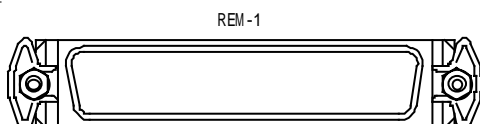
- (a) 編集機などコントローラの REMOTE(9P)コネクターと接続します。
- (b) 詳細はコネクターレゾナンス / REM-2 コネクターを御参照下さい。

5-4 . VTR PARALLEL コネクター (上記外観図)



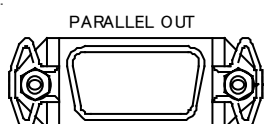
- (a) VTR の PARA I/O コネクターと接続します。(SONY 製 VTR のみ使用します)
- (b) 詳細はコネクターピンプライム / VTR PARALLEL コネクターを御参照下さい。

5-5 . REM-1 コネクター (上記外観図)



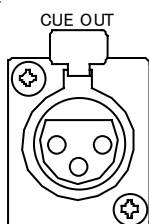
- (a) 上位システムからのパラレル制御を接続します。
- (b) パラレル制御を RS-422A に変換して VTR をコントロールします。
- (c) REM-1 コネクターからの制御は VTR がリモート状態の時のみ有効です。
- (d) 詳細はコネクターピンプライム / REM-1 コネクターを御参照下さい。

5-6 . PARALLEL OUT コネクター (上記外観図)



- (a) スイッチャーと接続します。
- (b) 詳細はコネクターピンプライム / PARALLEL OUT コネクターを御参照下さい。

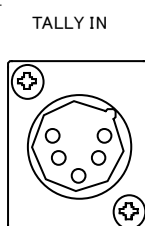
5-7 . CUE OUT コネクタ- (上記外観図)



(a) VTR の CUEトラックへが 働 用の CUE TONE を記録する時、VTR の CUE IN コネクタ-と接続します。

(b) 詳細はコネクタ-ピ ンアサイン / CUE OUT コネクタ-を御参照下さい。

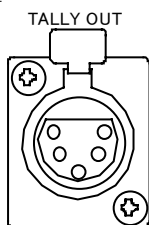
5-8 . TALLY IN コネクタ- (上記外観図)



(a) 上位システムからの OA TALLY を接続します。

(b) 詳細はコネクタ-ピ ンアサイン / TALLY IN コネクタ-を御参照下さい。

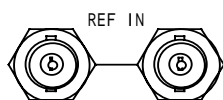
5-9 . TALLY OUT コネクタ- (上記外観図)



(a) 外部に OA TALLY 情報が必要な時、使用します。

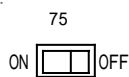
(b) 詳細はコネクタ-ピ ンアサイン / TALLY OUT コネクタ-を御参照下さい。

5-10 . REF IN コネクタ- (上記外観図)



- (a) 局内同期信号を入力します。
 - (b) 1125(3 値 SYNC) / 525(B.B)の入力に自動対応しています。
 - (c) REF IN のスルー出力ができます。
- (使用するときは、75 終端 SW は OFF にします。)

5-11 . 75 スイッチ (上記外観図)



- (a) 75 スイッチにより 75 終端の ON / OFF 設定ができます。

5-12 . Ether コネクタ- (上記外観図)



- (a) Ether NET (100BASE T) 制御ポートです。
- (b) ソフト Version Up、エラーログ、コマンドログ出力などで使用します。

5-13 . FUSE ホルダ- (上記外観図)



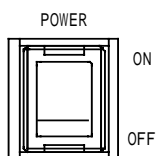
- (a) 2A のヒューズ を使います。

5-14 . アース端子 (上記外観図)



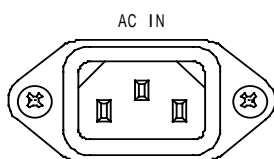
(a) 必要に応じて、電源アースと接続します。

5-15 . POWER スイッチ (上記外観図)



(a) 電源の ON / OFF するためのスイッチです。

5-16 . AC IN コネクタ (上記外観図)



(a) 付属の電源コード* を使って、電源コネクタに接続します。

6 . コネクター・ピンサイン

6-1 . REM-1 コネクター

アンフェノール 50S

入出力欄はATMT側を示します。

| No. | 入出力 | 名称 | 機能 | 備考 |
|-----|-----|--------------------|---------------------------------|-------------------|
| 1 | IN | C-GND | 共通 地 | |
| 2 | IN | PLAY | VTRをPLAYします。 | REF入力なしでも動作可能 |
| 3 | IN | PQ PB | PQ PB動作します。(次頁 参照) | 検出後、PQ PB完了をON |
| 4 | IN | RIS | REWし、始端指定した秒数後に停止します。 | 動作終了後、RIS完了をON |
| 5 | IN | | | |
| 6 | IN | STOP / STILL | VTRをSTOPまたはSTILLにします。(次頁 参照) | REF入力なしでも動作可能 |
| 7 | IN | REC | VTRをRECします。(次頁 参照) | REF入力なしでも動作可能 |
| 8 | IN | REW | 50倍速でREWします。 | REF入力なしでも動作可能 |
| 9 | IN | FF | 50倍速でFFします。 | REF入力なしでも動作可能 |
| 10 | IN | PQ REC | PQ信号を記録します。 | (次頁 参照) |
| 11 | IN | PQ ERASE | PQ STOPしたPQ信号を消去します。 | READY ON状態であること |
| 12 | IN | STBY ON / OFF | VTRをスタンバイON / OFFにします。 | REF入力なしでも動作可能 |
| 13 | IN | UNITY SET | VTRの映像 / 音声、入出力レベルをUNITYに設定します。 | |
| 14 | IN | REC INHIBIT | FREE / REC INHを切り換えます。 | |
| 15 | IN | | | |
| 16 | IN | REMOTE-2IN THROUGH | ATMTをEDITモードに切り換えます。 | REF入力なしでも動作可能 |
| 17 | IN | STBY ON | VTRをスタンバイONにします。 | REF入力なしでも動作可能 |
| 18 | IN | EJECT | テープをEJECTします。 | REF入力なしでも動作可能 |
| 19 | IN | | | |
| 20 | IN | REM-1 | ATMTをREM-1モードに切り換えます。 | REF入力なしでも動作可能 |
| 21 | IN | LOCAL | ATMTをLOCALモードに切り換えます。 | REF入力なしでも動作可能 |
| 22 | IN | TC / TM1 | TC、タイマー-1を切り換えます。 | |
| 23 | IN | CTL RESET | タイマー-1をリセットします。 | |
| 24 | IN | TAPE / EE | VTRのVIDEO出力のTAPE / EEを切り換えます。 | |
| 25 | IN | STBY OFF | VTRをスタンバイOFFにします。 | REF入力なしでも動作可能 |
| 26 | OUT | S-GND | 共通 地 | |
| 27 | OUT | PLAY | PLAY中ONになります。(改訂2008/04/30) | 9PINのPLAY信号Bitを監視 |
| 28 | OUT | PQ PB | PQ PB中ONになります。 | (次頁 参照) |
| 29 | OUT | STBY ON | STBY ON中ONになります。 | STBY OFFでOFFします。 |
| 30 | OUT | STOP / STILL | STOP / STILL中ONになります。 | (次頁 参照) |
| 31 | OUT | RIS 中 | RIS中ONになります。 | |
| 32 | OUT | REC | REC中ONになります。 | |
| 33 | OUT | REW | REW中ONになります。 | |
| 34 | OUT | FF | FF中ONになります。 | |
| 35 | OUT | PQ REC | PQ REC中ONになります。 | (次頁 参照) |
| 36 | OUT | PQ ERASE | PQ ERASE中ONになります。 | |
| 37 | OUT | RIS 完 | RIS完了時ONになります。 | |
| 38 | OUT | REC INHIBIT | VTRがREC INHIBITになった時、ONになります。 | FREEの時OFFします。 |
| 39 | OUT | PQ PB 完 | PQ PB完了時、ONになります。 | (次頁 参照) |
| 40 | OUT | TAPE THREAD | VTRにテープがある時、ONになります。 | (次頁 参照) |
| 41 | OUT | REMOTE-2IN THROUGH | ATMTがEDITモードの時、ONになります。 | |
| 42 | OUT | CUE DETECT | STOP CODE検出時、ONになります。 | UBで検出します。 |
| 43 | OUT | | | |
| 44 | OUT | TIMER MODE | VTRがTIMER1モードの時、ONになります。 | |
| 45 | OUT | REM-1 MODE | ATMTがREM-1モードの時、ONになります。 | |
| 46 | OUT | LOCAL MODE | ATMTがLOCALモードの時、ONになります。 | |
| 47 | OUT | ERROR STATUS | ATMT又はVTRがエラー状態の時ONになります。 | |
| 48 | OUT | TC MODE | VTRがTCモードの時、ONになります。 | TIMERモードでOFFします。 |
| 49 | OUT | TAPE MODE | VTRがTAPEモードの時、ONになります。 | EEモードでOFFします。 |
| 50 | OUT | +24V DC OUT | +24V DC OUT (MAX 120mA) | |

REM-1 コネクター

REM-1 コネクターからのコマンド及びステータスの受け渡しはREM-1スイッチ点灯時に有効です。但し、ERROR ステータス及び REM-1 / LOCAL 切り換えは除外
ATMT が VTR と制御状態になると VTR のコントロール 札で設定したイサート、アセンブル状態を解除します。

PQ-PB の動作仕様は、コントロール 札にある ENTRY/PQ-PB スwitchを同時に押した時の検知動作と同じです。

VTR のドラムが停止している時は、ドラムを回転(ST-BY ON)させます。

VTR が走行中は、ストップ になります。

OA TALLY を受けている間は下記の動作になります。

- ・コントロール 札にある ON AIR 表示が赤く点灯します。
- ・OA TALLY を受けると VTR のコントロール 札が無効になります。*
- ・OA TALLY を受けると PQ-PB 機能は無効となり、
PQ-PB 動作中に PQ 信号を検知しても、VTR はストップ しません。*
- ・OA TALLY を受けると VTR は PLAY になります。*
- ・OA TALLY を受けている間、REM-1 コネクターからの制御を禁止できます。*

PQ-REC の動作仕様は、コントロール 札にある ENTRY /PQ-REC スwitchを同時に押した時の動作と同じです。

PQ-PB ステータスはコントロール 札の ENTRY /PQ-PB スwitchが同時に押され、PQ-PB 動作になっている間又は、REM-1 コネクターに PQ-PB コマンドを受けて PQ-PB 動作になっている間出力します。

VTR が、STOP 状態でかつドラムが回転している時に点灯します。*

PQ PB 完ステータスは PQ-PB 機能により、PQ 信号を検出して VTR がストップ している間出力します。(ストップ 位置が CTL で 15F 以上移動した場合は消灯)

PQ-REC ステータスはコントロール 札の ENTRY /PQ-PB スwitchが同時に押され、PQ-REC 動作になっている間又は、REM-1 コネクターに PQ-REC コマンドを受けて PQ-REC 動作になっている間出力します。

ERROR ステータスは、アタッチメントが REM-1 選択時のみ出力するか、どの状態でも出力するかを MENU にて設定可能です。*

TAPE THREAD ステータスは、アタッチメントが REM-1・REM-2 選択時出力します。

LOCAL 選択時は出力するかを MENU にて設定可能です。*

MENU「72:REC-C TCG PRESET」により REC 時 TIMECODE の PRESET が可能です。(MENU「84:RIS END PQ-REC」が DISEBLE の時のみ) *

* MENU の設定によります。

6-2-1 .VTR PARALLEL ネットワーク(HDW-1800 / 2000 シリーズの 50PIN とストレート接続)

HDCAM → 使用ピン欄は、MC1-3200 の機能を正常に動作させるために必要なピンです。
Hddb-50S 又、入出力欄は VTR 側を示します。 #はユーザー設定が可能なピン

| No. | 入出力 | 名称 | 変更データ値 | デフォルト設定 | 使用ピン |
|-----|-----|--------------------|-------------------|-----------------------------|------|
| 1 | IN | REC INHI ON/OFF IN | 72,00,12,FE,01,00 | #F.F | |
| 2 | OUT | | | REC SW OUT | |
| 3 | OUT | | | PLAY SW OUT | |
| 4 | OUT | | | STOP SW OUT | |
| 5 | OUT | | | ENTRY SW OUT | |
| 6 | OUT | | | REF SYSTEM ALARM OUT | |
| 7 | OUT | | | CF LOCK OUT | |
| 8 | OUT | | | DRUM LOCK OUT | |
| 9 | OUT | | | CAP LOCK OUT | |
| 10 | OUT | REC INHIBIT | 02,02,08,01,00,00 | #CUE PRESET OUT | |
| 11 | OUT | | | #TC PRESET OUT | |
| 12 | OUT | | | #OXIDE/METAL OUT | |
| 13 | OUT | | | #TAPE THICKNESS | |
| 14 | OUT | | | SPARE | |
| 15 | OUT | | | SPARE | |
| 16 | | +12V OUT | | | |
| 17 | | C-GND | | | |
| 18 | IN | | | #PREROLL IN | |
| 19 | IN | | | #ST-BY ON IN | |
| 20 | IN | | | #REW IN | |
| 21 | IN | LOCAL ENABLE | 71,00,55,FC,02,00 | #ENTRY IN | |
| 22 | IN | LOCAL DISABLE | 71,00,55,FC,00,00 | #ST-BY OFF IN | |
| 23 | IN | | | #EJECT IN | |
| 24 | OUT | | | REC OUT | |
| 25 | OUT | | | CH CONDITION RED OUT | |
| 26 | OUT | SP TAPE-S | 02,02,2B,01,00,00 | #ASSEMBLE PRESET OUT | |
| 27 | OUT | REMOTE 50P | 02,00,19,01,00,00 | #EDIT OUT | |
| 28 | OUT | | | #EJECT OUT | |
| 29 | OUT | | | #ANALOG/DEGITAL OUT | |
| 30 | OUT | | | #REEL HUB OUT | |
| 31 | OUT | | | REM2 SETTING DATA RESET OUT | |
| 32 | OUT | | | ALL REC INHIBIT OUT | |
| 33 | | S-GND | | | |
| 34 | IN | | | #PLAY IN | |
| 35 | IN | | | #STOP IN | |
| 36 | IN | | | #REC IN | |
| 37 | OUT | | | REV LAMP OUT | |
| 38 | OUT | | | #DA2 PRESET OUT | |
| 39 | OUT | | | #DA1 PRESET OUT | |
| 40 | OUT | | | FWD LAMP OUT | |
| 41 | OUT | | | #DA4 PRESET OUT | |
| 42 | OUT | | | #DA3 PRESET OUT | |
| 43 | OUT | | | STOP OUT | |
| 44 | OUT | | | #VIDEO PRESET OUT | |
| 45 | OUT | | | #INSERT PRESET OUT | |
| 46 | OUT | | | STBY ON OUT | |
| 47 | OUT | | | PLAY OUT | |
| 48 | OUT | | | REMOTE OUT | |
| 49 | OUT | | | ALARM OUT | |
| 50 | OUT | | | #PREROLL OUT | |

6-2-2 . VTR PARALLEL コネクタ- (HDW-500(P)の 50PIN とストレート接続)

HDCAM → 使用ピン欄は、MC1-3200 の機能を正常に動作させるために必要なピンです。
Hddb-50S 又、入出力欄は VTR 側を示します。 #はユーザー設定が可能なピン

| No. | 入出力 | 名称 | 変更データ値 | デフォルト設定 | 使用ピン |
|-----|-----|--------------------|-------------------|-----------------------------|------|
| 1 | IN | REC INHI ON/OFF IN | 72,00,05,FE,01,00 | #F.F | |
| 2 | OUT | | | REC SW OUT | |
| 3 | OUT | | | PLAY SW OUT | |
| 4 | OUT | | | STOP SW OUT | |
| 5 | OUT | | | ENTRY SW OUT | |
| 6 | OUT | | | REF SYSTEM ALARM OUT | |
| 7 | OUT | | | CF LOCK OUT | |
| 8 | OUT | | | DRUM LOCK OUT | |
| 9 | OUT | | | CAP LOCK OUT | |
| 10 | OUT | REC INHIBIT | 02,02,08,01,00,00 | #CUE PRESET OUT | |
| 11 | OUT | | | #TC PRESET OUT | |
| 12 | OUT | | | #OXIDE/METAL OUT | |
| 13 | OUT | | | #TAPE THICKNESS | |
| 14 | OUT | | | SPARE | |
| 15 | OUT | | | SPARE | |
| 16 | | +12V OUT | | | |
| 17 | | C-GND | | | |
| 18 | IN | | | #PREROLL IN | |
| 19 | IN | | | #ST-BY ON IN | |
| 20 | IN | | | #REW IN | |
| 21 | IN | LOCAL ENABLE | 71,00,0F,FC,02,00 | #ENTRY IN | |
| 22 | IN | LOCAL DISABLE | 71,00,0F,FC,00,00 | #ST-BY OFF IN | |
| 23 | IN | | | #EJECT IN | |
| 24 | OUT | | | REC OUT | |
| 25 | OUT | | | CH CONDITION RED OUT | |
| 26 | OUT | | | #ASSEMBLE PRESET OUT | |
| 27 | OUT | REMOTE 50P | 02,00,4C,01,00,00 | #EDIT OUT | |
| 28 | OUT | | | #EJECT OUT | |
| 29 | OUT | | | #ANALOG/DEGITAL OUT | |
| 30 | OUT | REMOTE 9P | 02,00,4B,01,00,00 | #REEL HUB OUT | |
| 31 | OUT | | | REM2 SETTING DATA RESET OUT | |
| 32 | OUT | | | ALL REC INHIBIT OUT | |
| 33 | | S-GND | | | |
| 34 | IN | | | #PLAY IN | |
| 35 | IN | | | #STOP IN | |
| 36 | IN | | | #REC IN | |
| 37 | OUT | | | REV LAMP OUT | |
| 38 | OUT | | | #DA2 PRESET OUT | |
| 39 | OUT | | | #DA1 PRESET OUT | |
| 40 | OUT | | | FWD LAMP OUT | |
| 41 | OUT | | | #DA4 PRESET OUT | |
| 42 | OUT | | | #DA3 PRESET OUT | |
| 43 | OUT | | | STOP OUT | |
| 44 | OUT | | | #VIDEO PRESET OUT | |
| 45 | OUT | | | #INSERT PRESET OUT | |
| 46 | OUT | | | STBY ON OUT | |
| 47 | OUT | | | PLAY OUT | |
| 48 | OUT | | | REMOTE OUT | |
| 49 | OUT | | | ALARM OUT | |
| 50 | OUT | | | #PREROLL OUT | |

VTR 不揮発性RAMの設定法についてはSONYのVTRマニュアルをご覧ください。

操作例（SONY HDW-M2000 のマニュアル参照）

HDW-M2000 の電源を入れます。

フロントパネル上の[HOME]を押しながら[MENU]を選択します。

ダイヤルつまみを回して「M3: OTHERS」を選び[SET]を押します。

OTHERS 階層に入ります。

次に、ダイヤルつまみを回して「M39: 50PIN DATA ASSIGN」を選び[SET]を押します。

ダイヤルつまみを回して「M390: INPUT PIN ASSIGN」を選び[SET]を押します。変更するピン No. のデータにあわせ、[HOME]を押しながらダイヤルつまみを回して数値を入れていきます。

終了したら、[EXIT]を押し、上の階層に戻ります。

ダイヤルつまみを回して「M391: OUTPUT PIN ASSIGN」を選び[SET]を押します。変更するピン No. のデータにあわせ、[HOME]を押しながらダイヤルつまみを回して数値を入れていきます。

終了したら、[EXIT]を押し、上の階層に戻ります。

6-3 . PARALLEL OUT コネクタ



6-4 . VTR REMOTE コネクタ

D-SUB 9PIN メス座

| No. | 名称 | 動作 |
|-----|-----------------|--------------------------|
| 1 | FG | フレーム GND |
| 2 | VTR REM RX - | R S - 4 2 2 信号レベル (平衡 -) |
| 3 | VTR REM TX + | R S - 4 2 2 信号レベル (平衡 +) |
| 4 | RECEIVE COMMON | 受信信号 GND |
| 5 | N.C | |
| 6 | TRANSMIT COMMON | 送信信号 GND |
| 7 | VTR REM RX + | R S - 4 2 2 信号レベル (平衡 +) |
| 8 | VTR REM TX - | R S - 4 2 2 信号レベル (平衡 -) |
| 9 | FG | フレーム GND |

6-5 . EDIT UNIT コネクター

D-SUB 9PIN メス座

| No. | 名 称 | 動 作 |
|-----|-----------------|--------------------------|
| 1 | FG | フレーム GND |
| 2 | EDIT TX - | R S - 4 2 2 信号レベル (平衡 -) |
| 3 | EDIT RX + | R S - 4 2 2 信号レベル (平衡 +) |
| 4 | RECEIVE COMMON | 受信信号 GND |
| 5 | N.C | |
| 6 | TRANSMIT COMMON | 送信信号 GND |
| 7 | EDIT TX + | R S - 4 2 2 信号レベル (平衡 +) |
| 8 | EDIT RX - | R S - 4 2 2 信号レベル (平衡 -) |
| 9 | FG | フレーム GND |

6-6 . REM-2 コネクター

D-SUB 9PIN メス座

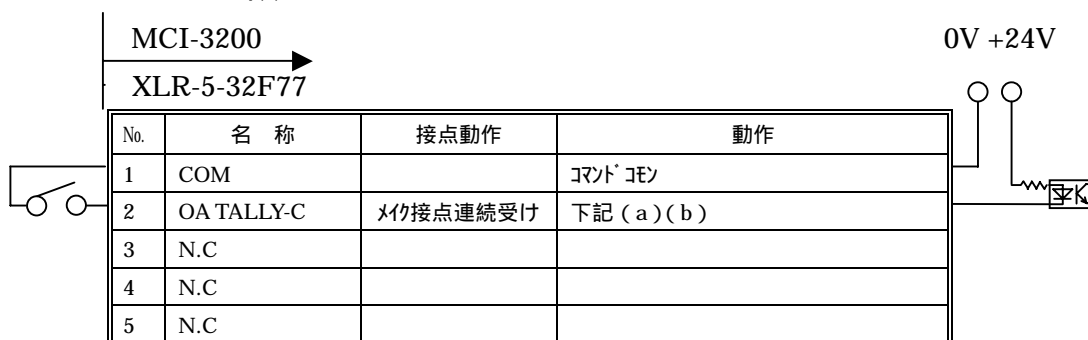
| No. | 名 称 | 動 作 |
|-----|-----------------|--------------------------|
| 1 | FG | フレーム GND |
| 2 | REM-2 TX - | R S - 4 2 2 信号レベル (平衡 -) |
| 3 | REM-2 RX + | R S - 4 2 2 信号レベル (平衡 +) |
| 4 | RECEIVE COMMON | 受信信号 GND |
| 5 | N.C | |
| 6 | TRANSMIT COMMON | 送信信号 GND |
| 7 | REM-2 TX + | R S - 4 2 2 信号レベル (平衡 +) |
| 8 | REM-2 RX - | R S - 4 2 2 信号レベル (平衡 -) |
| 9 | FG | フレーム GND |

6-7 . CUE OUT コネクタ-

XLR-3-32F77 (XLR3PIN メス座)

| No. | 名 称 | 動 作 |
|-----|-----------|---------------------|
| 1 | COMMON | 信号 GND |
| 2 | CUE OUT + | オーディオ信号レベル (平衡 +) |
| 3 | CUE OUT - | オーディオ信号レベル (平衡 -) |

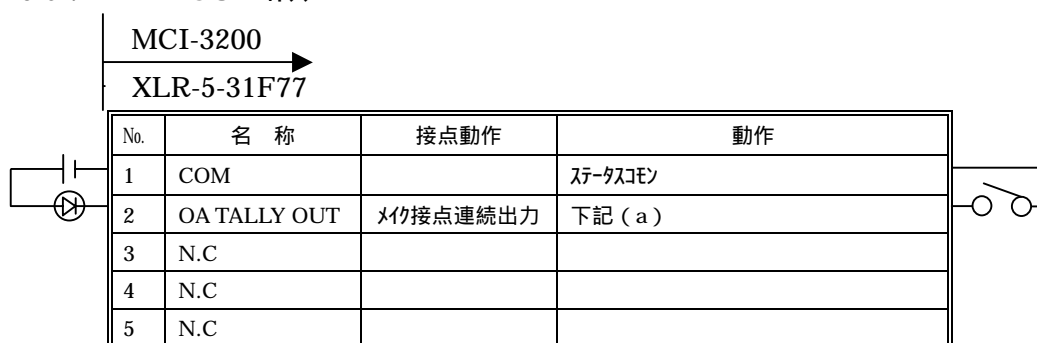
6-8 . TALLY IN コネクタ-



TALLY IN コネクタ-

(a) OA TALLY-C は常時有効です。

6-9 . TALLY OUT コネクタ-



TALLY OUT コネクタ-

(a) OA TALLY OUT は、TALLY IN コネクタ-に OA TALLY-C を受けている間出力します。

7 . MENU

7-1 . MENU 設定について

バージョン情報及び各 VTR 及び ATMT 設定

| メニュー | 設定項目 | 機能 | デフォルト設定 | |
|-------------------|----------------------------------|---------------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|
| 00:SYSTEM INFO | 表示のみ | VER H01 S0100-14 S2 などバージョン情報を表示* | | |
| 01:ATMT MODE SEL | STUDIO | スタジオ用 ATMT UNITY 中点灯、UNITY 外消灯 | | |
| | ON AIR | 送出用 ATMT UNITY 中消灯、UNITY 外点滅 | | |
| 02:FORMAT SEL | AJ-HD580 | コントロールする VTR を松下 AJ-HD580 に設定 | | |
| | AJ-HD2000 | コントロールする VTR を松下 AJ-HD2000 に設定 | | |
| | AJ-HD3000 | コントロールする VTR を松下 AJ-HD3000 に設定 | | |
| | AJ-HD3700H | コントロールする VTR を松下 AJ-HD3700H に設定 | | |
| | AJ-HD3700A | コントロールする VTR を松下 AJ-HD3700A に設定 | | |
| | AJ-HD3700B | コントロールする VTR を松下 AJ-HD3700B に設定 | | |
| | AJ-HD3730 | コントロールする VTR を松下 AJ-HD3730 に設定 | | |
| | HDW-500 | コントロールする VTR を SONY HDW-500 に設定** | | |
| | HDW-500(50P) | コントロールする VTR を SONY HDW-500(50P)に設定** | | |
| | HDW-A2100 | コントロールする VTR を SONY HDW-A2100 に設定 | | |
| | HDW-2000 | コントロールする VTR を SONY HDW-2000 に設定 | | |
| | HDW-S2000 | コントロールする VTR を SONY HDW-S2000 に設定 | | |
| | HDW-M2000 | コントロールする VTR を SONY HDW-M2000 に設定 | | |
| HDW-1800 | コントロールする VTR を SONY HDW-1800 に設定 | | | |
| 03:STBY OFF TIM-S | DISABLE | ATMT からの ST-BY OFF タイマ設定は行いません | | |
| | 30sec | ATMT のタイマ-設定により ST-BY OFF*** | | |
| | 01min | | | |
| | 03min | | | |
| | 05min | | | |
| | 08min | | | |
| | 15min | | | |
| | 30min | | | |
| 04:STBY OFF TIM-P | DISABLE | | ATMT からの ST-BY OFF タイマ設定は行いません | |
| | 30sec | ATMT のタイマ-設定により ST-BY OFF*** | | |
| | 01min | | | |
| | 03min | | | |
| | 16min | | | |
| | INFINITI () | | ST-BY OFF しません | |
| | 05:STILL OFF TIM-P | | DISABLE | ATMT からの STILL OFF タイマ設定は行いません |
| 30sec | ATMT のタイマ-設定により STILL OFF*** | | | |
| 01min | | | | |
| 03min | | | | |
| 05min | | | | |
| 06:UNITY SW MASK | OFF | UNITY スイッチは有効です(松下の場合デフォルト)**** | P | |
| | ON | UNITY スイッチを無効にします(SONY の場合デフォルト) | S | |
| 07:REF ERR MASK | OFF | REF エラーは有効です | | |
| | VTR | VTR からの REF エラーを無効にします | | |
| | ATMT | ATMT の REF エラーを無効にします | | |
| | ALL | VTR と ATMT の REF エラーを無効にします | | |

* "VER H01 S0100-14 S2" 表示の意味について

"H01" : PLD のバージョン番号

"S0100" : ファームのバージョン番号 ("-??" はファーム保守情報)

"S2" : 保守情報

* * HDW-500 に設定すると REMOTE 1-IN(9P)のみで制御します。HDW-500(50P) に設定すると REMOTE 2 PARALLEL I/O(50P)でも制御します。又、HDW-500(50P)を選択した場合は、別売りの BKDW-509 を装着して下さい。

* * * 03:STBY OFF TIM-S の設定項目は SONY 製 VTR 専用の STBY OFF タイマ値設定です。04:STBY OFF TIM-P 及び 05:STILL OFF TIM-P は松下製 VTR 専用の STBY OFF 及び STILL OFF タイマ値設定です。

* * * * 06:UNITY SW MASK 設定は工場出荷時はデフォルト SONY (HDW-2000) の為に UNITY スイッチ操作を禁止しています。松下製 VTR の場合、デフォルト値は UNITY スイッチ操作を有効にしています。

02:FORMAT SEL を切り替えると、以下の設定内容がデフォルト値として読み込まれます。

松下製 VTR 設定一覧表

| メニュー | AJ-HD580 | AJ-HD2000 | AJ-HD3000 | AJ-HD3700H | AJ-HD3700A | AJ-HD3700B | AJ-HD3730 |
|----------------------|----------|-----------|-----------|------------|------------|------------|-----------|
| 32:PQ-REC STPCD TRIM | 4 | 4 | 5 | 4 | 6 | 5 | 4 |
| 34:PQ-REC EDTON TRIM | 10 | 9 | 10 | 8 | 10 | 10 | 8 |
| 35:PQ-REC EDTOF TRIM | 10 | 9 | 10 | 8 | 10 | 10 | 8 |
| 42:PQ-PB STOP TRIM | 6 | 6 | 7 | 7 | 6 | 6 | 7 |
| 43:PQ-PB STILL TRIM | 7 | 8 | 8 | 8 | 7 | 7 | 8 |
| 82:RIS STOP TRIM | -6 | -6 | -7 | -7 | -6 | -6 | -7 |

▲AJ-HD3000,3700H/A/B のパラメーター変更(改訂2007/12/11)

SONY 製 VTR 設定一覧表

| メニュー | HDW-500 | 500(50P) | HDW-A2100 | HDW-2000 | HDW-S2000 | HDW-M2000 | HDW-1800 |
|----------------------|---------|----------|-----------|----------|-----------|-----------|----------|
| 32:PQ-REC STPCD TRIM | 4 | 4 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 34:PQ-REC EDTON TRIM | 13 | 13 | 13 | 13 | 13 | 13 | 13 |
| 35:PQ-REC EDTOF TRIM | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 42:PQ-PB STOP TRIM | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 |
| 43:PQ-PB STILL TRIM | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 |
| 82:RIS STOP TRIM | -6 | -6 | -6 | -6 | -6 | -6 | -6 |

▲HDW-500 のパラメーター変更(改訂2007/12/11)

各 VTR の UNITY 判定条件について以下の表に がついている項目を判定しています。

松下製 VTR の UNITY 判定一覧表

| 設定項目 | AJ-HD580 | AJ-HD2000 | AJ-HD3000 | AJ-HD3700H | AJ-HD3700A | AJ-HD3700B | AJ-HD3730 |
|------------------|----------|-----------|-----------|------------|------------|------------|-----------|
| Inp V doLvl | | | | | | | |
| Out V doLvl | | | | | | | |
| Out Setup Lvl | | | | | | | |
| Out Chroma Lvl | | | | | | | |
| Out Vdo Hue | | | | | | | |
| Out Vdo Phase | | | | | | | |
| Hd Inp YLvl | x | x | x | x | x | x | x |
| Hd Inp PbLvl | x | x | x | x | x | x | x |
| Hd Inp PrLvl | x | x | x | x | x | x | x |
| Hd Out YLvl | x | x | x | x | x | x | x |
| Hd Out PbLvl | x | x | x | x | x | x | x |
| Hd Out PrLvl | x | x | x | x | x | x | x |
| Hd Out Setup | x | x | x | x | x | x | x |
| Aud 1234 InpLvl | | | | | | | |
| Aud 1234 OutLvl | | | | | | | |
| Aud Cue In Lvl | | | | | | | |
| Aud Cue Out Lvl | | | | | | | |
| Aud Out Phase | | | | | | | |
| Aud 5678 Inp Lvl | x | x | x | | | | |
| Aud 5678 Out Lvl | x | x | x | | | | |

SONY 製 VTR の UNITY 判定一覧表

| メニュー | HDW-500 | HDW-500(50P) | HDW-A2100 | HDW-2000 | HDW-S2000 | HDW-M2000 | HDW-1800 |
|------------------|---------|--------------|-----------|----------|-----------|-----------|----------|
| Inp V doLvl | x | x | x | x | x | x | x |
| Out V doLvl | | | | | | | |
| Out Setup Lvl | | | | | | | |
| Out Chroma Lvl | | | | | | | |
| Out Vdo Hue | | | | | | | |
| Out Vdo Phase | x | x | x | x | x | x | x |
| Hd Inp YLvl | x | x | x | x | x | x | x |
| Hd Inp PbLvl | x | x | x | x | x | x | x |
| Hd Inp PrLvl | x | x | x | x | x | x | x |
| Hd Out YLvl | | | | | | | |
| Hd Out PbLvl | | | | | | | |
| Hd Out PrLvl | | | | | | | |
| Hd Out Setup | | | x | x | x | x | x |
| Aud 1234 InpLvl | | | x | | | | |
| Aud 1234 OutLvl | | | | | | | |
| Aud Cue In Lvl | x | x | x | | | | |
| Aud Cue Out Lvl | x | x | | | | | |
| Aud Out Phase | | | | | | | |
| Aud 5678 Inp Lvl | x | x | x | x | x | x | x |
| Aud 5678 Out Lvl | x | x | x | x | x | x | x |

▲HDW-500 のパラメーター変更(改訂2007/12/11)

CONFIG BANK 設定

| メニュー | 設定項目 | 機能 | デフォルト設定 |
|---------------------|-------|-------------------------------|---------|
| 08:CONFIG BANK LOAD | Non | ATMT の設定情報を LOAD しません | |
| | BANK1 | ATMT の設定情報を BANK1 から LOAD します | |
| | BANK2 | ATMT の設定情報を BANK2 から LOAD します | |
| | BANK3 | ATMT の設定情報を BANK3 から LOAD します | |
| | BANK4 | ATMT の設定情報を BANK4 から LOAD します | |
| | BANK5 | ATMT の設定情報を BANK5 から LOAD します | |
| | BANK6 | ATMT の設定情報を BANK6 から LOAD します | |
| | BANK7 | ATMT の設定情報を BANK7 から LOAD します | |
| | BANK8 | ATMT の設定情報を BANK8 から LOAD します | |
| 09:CONFIG BANK SAVE | Non | ATMT の設定情報を SAVE しません | |
| | BANK1 | ATMT の設定情報を BANK1 に SAVE します | |
| | BANK2 | ATMT の設定情報を BANK2 に SAVE します | |
| | BANK3 | ATMT の設定情報を BANK3 に SAVE します | |
| | BANK4 | ATMT の設定情報を BANK4 に SAVE します | |
| | BANK5 | ATMT の設定情報を BANK5 に SAVE します | |
| | BANK6 | ATMT の設定情報を BANK6 に SAVE します | |
| | BANK7 | ATMT の設定情報を BANK7 に SAVE します | |
| | BANK8 | ATMT の設定情報を BANK8 に SAVE します | |

08:CONFIG BANK LOAD について

- ・ 予め保存した ATMT 設定情報を読み込みます。
つまみを回して BANK を選び、SET スイッチを押すことにより設定情報を読み出すことが可能です。

CONFIG BANK LOAD 後、自動的に再起動します

09:CONFIG BANK SAVE について

- ・ ATMT の設定情報を最大 8 パターン SAVE 可能です。
つまみを回して BANK を選び、SET スイッチを押すことにより設定情報を保存することが可能です。

ERROR LOG 設定

| メニュー | 設定項目 | 機能 | デフォルト設定 |
|-------------------|-------|---------------|---------|
| 10:ERR-LOG | 00~99 | 00~99 エラーログ表示 | 00 |
| 11: ERR-LOG SAVE | SAVE | エラーログの保存 | |
| | EXIT | そのまま抜ける | |
| 12: ERR-LOG ERASE | EXIT | そのまま抜ける | |
| | ERASE | エラーログの消去 | |

10:ERR-LOG について

本機で検知されるエラーは以下の内容です。

このエラーが、LCD 下段のサイクリック表示 及び エラーログされるものです。

- ・ ログ表示例: 50PIN のスイッチが LOCAL になっていた場合。

"10:ERR-LOG >000 5:01"

" E1061:50P LOC ER" 50PIN が LOCAL になっていた (最後のログ)

"10:ERR-LOG >001 FULL"

" E1052:VTR LOC ER" 9PIN LOCAL になっていた (最後の次のログ)

上の行の>3桁の数字は、ログ番号 "000~999" です。

ログ番号が"999"を超えた場合、古いコマンドログ番号から消去され、最新コマンドログ番号が上書きされます。

上の行の一番後ろに記述してある " 5:01 " は時間を表します。

前回のログからの経過時間を示します。(秒:フレーム単位)

例えば、" 5:01 "は前回の变化から 5 秒 01 フレーム後のログを表します。

時間表示範囲は"0:00" (0 秒 0 フレーム) ~ "9:29" (9 秒 29 フレーム) です。

"9:29" (9 秒 29 フレーム) 以上経過している場合は<FULL

下の行先頭の数字"E????"はIラ-コード' です。

Iラ-の種類を表します。

・号機等点滅エラー 関係 (発生時, Beep と エラーログ と LCD に周回表示)

"E1010:EXT REF ER" : 本機へのリファレンス入力が途絶えた場合
"E1020:VTR COM ER" : ATMT<->VTR との RS422 通信が途絶えた場合
"E1030:EDT COM ER" : EDIT<->VTR との RS422 通信が途絶えた場合
"E1040:RM2 COM ER" : REM-2<->VTR との RS422 通信が途絶えた場合
"E1050:SNS ER****" : 周期センス(TcExt/Int,RecInhi,Unity 状態等)エラー
"E1051:VTR H/W ER" : VTR から H/W ERROR のアンサーがあった場合
"E1052:VTR LOC ER" : VTR から Vtr Local のアンサーがあった場合
"E1053:VTR REF ER" : VTR から Ref Miss のアンサーがあった場合
"E1054:VTR SVO ER" : VTR から Pana Servo err のアンサーがあった場合
"E1055:VTR CCL ER" : VTR から Pana Conceal err のアンサーがあった場合
"E1060:50P OFF ER" : VTR から VTR 50P Off err のアンサーがあった場合
"E1061:50P LOC ER" : VTR から VTR 50P Local err のアンサーがあった場合

"****"はサービスマンコードです

E1054 ,E1055 は松下製 VTR のみのエラーです。

E1060 ,E1061 は SONY 製 VTR のみのエラーです。

・操作時に発生するエラー 関係 (発生時, Beep と エラーログ)

"E2010:VTR NotRdy" : VTR が 通信断,Local,NoTape 等である
"E2011:VTR NotStp" : PQREC/RIS 操作時 VTR が 停止していない
"E2012:VTR NotDet" : PQERA 操作時 VTR が PGPB 完 状態でない
"E2013:VTR DetStp" : PQREC 操作時 VTR が PGPB 完 状態である
"E2014:VTR RecIhi" : REC 系操作時 VTR が REC 禁止状態である
"E2015:VTR NotTm1" : REM1 の CtlReset 操作時 VTR が TM1 状態でない
"E2016:VTR REC " : VTR が 収録中(主に REM1 操作時)
"E2020:ATMT BUSY1" : ATMT が処理中(Swr 切替,ExtInt,RecInhi,Unity 等)
"E2021:ATMT BUSY2" : ATMT が処理中(TestRec,PqRec/Era,PqPb,Ris 等)
"E2022:ATMT ABOT1" : 強制中断(Line/Test/Dub,TcExt/Int,RecInhi,Unity 等)
"E2023:ATMT ABOT2" : 強制中断(TestRec,PqRec/Era,PqPb,Ris 等)
"E2024:ATMT PGPB " : PGPB 動作中(OA 起動等で PGPB を重複起動した場合等)
"E2030:OA INHI " : OA 中
"E2040:RMT SEL ER" : LOCAL,REM1,EDIT,REM2 選択状態エラー
"E2041:UNITY MASK" : UNITY SW マスク中 (UNITY 操作時)

・各処理が正常終了しなかった場合のエラー（発生時，Beep と エラーログ）

"E9010:INIT ****" : 初期設定通信 エラー完了
(起動時や通信断からの復帰時の通信等)
"E9011:LcDis ****" : Local Dis コマンドエラー完了(OA 時や REM1 選択時等)
"E9011:LcEna ****" : Local Ena コマンドエラー完了
"E9011:STBON ****" : Standby-On 通信エラー完了(タイマー設定も含)
"E9011:PLAY ****" : PLAY コマンド 通信 エラー完了
"E9011:OAPLY ****" : OA 起動での PLAY コマンド 通信 エラー完了
"E9011:REC ****" : REC コマンド 通信 エラー完了
"E9011:STOP ****" : STOP コマンド 通信 エラー完了
"E9011:STILL ****" : STILL コマンド 通信 エラー完了(JOG Still)
"E9011:FF ****" : FF コマンド 通信 エラー完了
"E9011:REW ****" : REW コマンド 通信 エラー完了
"E9011:EJECT ****" : EJECT コマンド 通信 エラー完了
"E9011:STBOF ****" : Standby-Off 通信 エラー完了
"E9011:TC/TM ****" : TIMER MODE SELECT 通信 エラー完了
"E9011:CTRLS ****" : Ctl Reset 通信 エラー完了
"E9011:TP/EE ****" : TAPE/AUTO SELECT 通信 エラー完了
(E9011 エラーは REM1 操作によるコマンド通信エラー完了です)

"****"はサービスマンコードです

"E9020:LINE ****" : "LINE" 操作時の通信エラー完了
"E9021:TEST ****" : "TEST" 操作時の通信エラー完了
"E9022:DUB ****" : "DUB" 操作時の通信エラー完了
"E9030:TCSEL ****" : "EXT/INT" 操作時の通信エラー完了
"E9031:RECIH ****" : "RECINHI" 操作時の通信エラー完了
"E9032:UNITY ****" : "UNITY" 操作時の通信エラー完了
"E9040:TSREC ****" : "TEST REC" 操作時の通信エラー完了
"E9041:PQREC ****" : "PQ REC" 操作時の通信エラー完了
"E9042:PQERA ****" : "PQ ERA" 操作時の通信エラー完了
"E9043:PQPB ****" : "PQ PB" 操作時の通信エラー完了
"E9044:RIS ****" : "RIS" 操作時の通信エラー完了
"E9045:TCREC ****" : "TC SET & REC" 操作時の通信エラー完了
(REM1 の REC 操作によるコマンド送信等)

"E9050:LOCAL ****": "LOCAL" 操作時の通信エラー完了
"E9051:REM1 ****": "REM1" 操作時の通信エラー完了
"E9052:EDIT ****": "EDIT" 操作時の通信エラー完了
"E9053:REM2 ****": "REM2" 操作時の通信エラー完了

"****"はサービスマンコードです

・参考

本ユニット電源投入時、または、通常使用中において、
H/W 故障や致命的のバグに関連するような不具合が発生した場合、
LCD 上段表示に "SYSTEM ERROR ~" と表示されます。
この表示が出た場合は、修理を依頼して下さい。

例：起動時にメモリ異常が検知された場合等

LCD 上段: "SYSTEM ERROR BOOT"

LCD 下段: "E0006:SRAM ER"

致命的なエラーなので、ログ処理自体が信用出来ない場合も
あり、システムエラーはログしていません。

ERR-LOG は COM-LOG にも同様にエラー内容が記録されます

11:ERR-LOG SAVE について

- ・ エラーログを保存したい時 SAVE します。

MCI-3200 の電源を切るとエラーログが消えてしまいますが、SAVE すること
によりエラーログを不揮発性 RAM へバックアップすることができます。

12:ERR-LOG ERAS について

- ・ エラーログを消去したい時に ERASE します。

COMMAND LOG 設定

| メニュー | 設定項目 | 機能 | デフォルト設定 |
|------------------|---------|------------------|---------|
| 20:COM-LOG | 000~999 | 000~999 コマンドログ表示 | 000 |
| 21:COM-LOG SAVE | SAVE | コマンドログの保存 | |
| | EXIT | そのまま抜ける | |
| 22:COM-LOG ERASE | EXIT | そのまま抜ける | |
| | ERASE | コマンドログの消去 | |

20: CMD-LOG について

- ・ ログ表示例: REM-1 GPI の PQPB が操作された場合

"20:CMD-LOG >000 0:15"

" REM1:PQPB-0" PQPB が離された (最後のログ)

"20:CMD-LOG >001 9:29"

" REM1:PQPB-1" PQPB が押された (最後の次のログ)

上の行の>3桁の数字は、ログ番号 "000~999" です。

ログ番号が"999"を超えた場合、古いコマンドログ番号から消去され、最新コマンドログ番号が上書きされます。(エラーログも記録されます)

上の行の一番後ろに記述してある "0:15" は時間を表します。

前回のログからの経過時間を示します。(秒:フレーム単位)

例えば、"0:15"は前回の变化から0秒15フレーム後のログを表します。

時間表示範囲は"0:00"(0秒0フレーム) ~ "9:29"(9秒29フレーム)です。

"9:29"(9秒29フレーム)以上経過している場合は<FULL

下の行先頭のアルファベット "REM1","VTR","PNL","OATALLY"は GPI の入力ポートを表します。

" REM1" は REM-1 ネットワークからのログを示します。

" VTR " は VTR ネットワークからのログを示します。

" PNL" はフロントパネル操作によるログを示します。

下の行先後のアルファベットはコマンド又はステータスを表します。

下の行の後ろに付いている "-0"又は"-1"はコマンドの立ち下がり、立ち上がりを表しています。

"-1" は立ち下がりを示します。

"-0" は立ち上がりを示します。

・ REM-1 GPI 入力コマンドログ表示

"REM1:PLAY"
"REM1:PQPB"
"REM1:RIS"
"REM1:STP/STL"
"REM1:REC"
"REM1:REW"
"REM1:FF"
"REM1:PQREC"
"REM1:PQERA"
"REM1:STBY"
"REM1:UNITY"
"REM1:RECINHI"
"REM1:EDIT"
"REM1:STBYON"
"REM1:EJECT"
"REM1:REM1"
"REM1:LOCAL"
"REM1:TC/TM1"
"REM1:CTLRST"
"REM1:TP/EE"
"REM1:STBYOFF"

・ フロントパネル操作による入力コマンドログ表示

"PNL:LINE"
"PNL:TEST"
"PNL:DUB"
"PNL:EXT/INT"
"PNL:RECINHI"
"PNL:UNITY"
"PNL:TESTREC"
"PNL:PQREC"
"PNL:PQERA"
"PNL:RIS"
"PNL:PQPB"
"PNL:ENTRY"

"PNL:LOCAL"
"PNL:HDCAM"
"PNL:HDD5"
"PNL:REM1"
"PNL:EDIT"
"PNL:REM2"

・ VTR GPI ステータス ログ 表示

"VTR:RECINHI"
"VTR:SPTAPE"
"VTR:REM50P"
"VTR:PWR" : (VTR 50P 電源 BIT)

・ TALLY IN ステータス ログ 表示

"OATALLY"

・ 動作ログ関係 (PLAY/STOP 関連のみ)

"RCP PLAY" : "PLAY" 要求を受付
"RCP STOP" : "STOP" 要求を受付
"RCP PQPB" : "PQPB" 要求を受付
"SND PLAY" : PLAY を送信
"SND STOP" : STOP を送信
"SND STILL" : STILL を送信 (JOG STILL)
"EXE PQPB" : PQPB の実行開始

21: COM-LOG SAVE について

- ・ コマンドログを保存したい時 SAVE します。

MCI-3200 の電源を切るとコマンドログが消えてしまいますが、SAVE することによりコマンドログを不揮発性 RAM へバックアップすることができます。

22: COM-LOG ERASE について

- ・ コマンドログを消去したい時に ERASE します。

PQ-REC 設定

| メニュー | 設定項目 | 機能 | デフォルト設定 |
|----------------------|-----------------|-----------------------------------|---------|
| 30:PQ-REC TIME | 01S00F ~ 31S00F | PQ-REC 開始点の時間設定 | 01S00F |
| 31:PQ-REC PREROL SEC | 1S ~ 5S | PQ-REC 時のプリロール設定 | 3S |
| 32:PQ-REC STPCD TRIM | 00F ~ 30F | STOP CODE 記録位置の微調整 | 01F |
| 33:PQ-REC CUETN TRIM | 00F ~ 30F | CUE TONE 記録位置の微調整 | 01F |
| 34:PQ-REC EDTON TRIM | 00F ~ 30F | PQ-REC EDIT ON 開始点の微調整* | 13F |
| 35:PQ-REC EDTOF TRIM | 00F ~ 30F | PQ-REC EDIT OFF タイミングの微調整* | 00F |
| 36:PQ-REC PLAY BACK | DISABLE | PQ-REC(PQ-ERASE) PLAYBACK 機能無効 | |
| | ENABLE | PQ-REC(PQ-ERASE) PLAYBACK 機能有効 | |
| 37:PQ-REC GEN OPT | NORMAL | 自動 PQ-REC 後の UBIT TGC 設定を元に戻す | |
| | MODE1 | 自動 PQ-REC 後の UBIT に 0 を書き続ける | |
| 38:REC TCG DELAY | DEFAULT | REC-C TCG PRESET の REC-C 送信ディレイ設定 | |
| | 00F | | |
| | 05F | | |
| | 10F | | |
| | 15F | | |
| | 20F | | |
| | 30F | | |

▲MENU37、38 追加(改訂2008/04/30)

* 34:PQ-REC EDTON TRIM について 補足

PQ-REC EDTON TRIM は VTR の EDIT ON タイミングを微調整できます。
VTR が EDIT ON するまでのディレイ時間を設定します。

デフォルト設定では、VTR (HDW-2000) が EDIT ON するまでのディレイ時間が
8 フレームなので余白を加算して 13F に設定されています。(U-BIT プレートは 1 フレーム)
このことは、8 フレーム前に EDIT ON コマンドを ATTACHMENT から投げることで
VTR の EDIT ON タイミングが書き込み開始位置と一致するという意味です。

PQ-PB 設定

| メニュー | 設定項目 | 機能 | デフォルト設定 |
|---------------------|-----------------|---------------------------|---------|
| 40:PQ-PB UP TIME | 00S00F ~ 30S00F | PQ-PB CUE UP 点の時間設定* | 00S00F |
| 41:PQ-PB STOP MODE | STOP | CUE UP 時 STOP で停止 | |
| | STILL | CUE UP 時 STILL で停止 | |
| 42:PQ-PB STOP TRIM | 00F ~ 30F | STOP CODE での VTR 停止位置の微調整 | 06F |
| 43:PQ-PB STILL TRIM | 00F ~ 30F | STOP CODE での VTR 停止位置の微調整 | 06F |
| 44:PQ-PB END CTLSET | DISABLE | PQ-PB 完了時 CTL-PRESET しない | |
| | ENABLE | PQ-PB 完了時 CTL-PRESET する | |
| 45:PQ-PB CTL PRESET | 00S00F ~ 30S00F | PQ-PB 完了時の CTL 値を設定 | 00S00F |

* 40:PQ-PB UP TIME について 補足

PQ-PB UP TIME は、ON AIR 開始点を基準にマックス方向の静止時間を設定
します。PQ-REC TIME は必ず PQ-PB UP TIME より 1 秒以上マックス方向に
設定して下さい。(STOP CODE が DETECT STOP 位置より手前に記録
されている必要があります)

BEEP 設定

| メニュー | 設定項目 | 機能 | デフォルト設定 |
|----------------------|---------|-----------------------|---------|
| 50:DET-BEEP SW | OFF | 検出音を OFF | |
| | BEEP1 | 検出音を小ブザー (VAR) で鳴らす | |
| | BEEP2 | 検出音を小ブザー (最大音量) で鳴らす | |
| | BEEP3 | 検出音を大ブザー (VAR) で鳴らす | |
| | BEEP4 | 検出音を大ブザー (最大音量) で鳴らす | |
| 51:DET-BEEP MODE | PQPB | PQ-PB 動作時のみ検出音を鳴らす | |
| | ALL | 常時検出音を鳴らす | |
| 52:DET-BEEP ON-AIR | DISABLE | ON-AIR 中に検出音を OFF | |
| | ENABLE | ON-AIR 中に検出音を上記設定で鳴らす | |
| 53:ATMT ERR BEEP SW | OFF | 検出音を OFF | |
| | BEEP1 | 検出音を小ブザー (VAR) で鳴らす | |
| | BEEP2 | 検出音を小ブザー (最大音量) で鳴らす | |
| | BEEP3 | 検出音を大ブザー (VAR) で鳴らす | |
| | BEEP4 | 検出音を大ブザー (最大音量) で鳴らす | |
| 54:OPE BEEP SW | OFF | 検出音を OFF | |
| | BEEP1 | 検出音を小ブザー (VAR) で鳴らす | |
| | BEEP2 | 検出音を小ブザー (最大音量) で鳴らす | |
| | BEEP3 | 検出音を大ブザー (VAR) で鳴らす | |
| | BEEP4 | 検出音を大ブザー (最大音量) で鳴らす | |
| 55:OPE ERR1 BEEP SW | OFF | 検出音を OFF | |
| | BEEP1 | 検出音を小ブザー (VAR) で鳴らす | |
| | BEEP2 | 検出音を小ブザー (最大音量) で鳴らす | |
| | BEEP3 | 検出音を大ブザー (VAR) で鳴らす | |
| | BEEP4 | 検出音を大ブザー (最大音量) で鳴らす | |
| 56: OPE ERR2 BEEP SW | OFF | 検出音を OFF | |
| | BEEP1 | 検出音を小ブザー (VAR) で鳴らす | |
| | BEEP2 | 検出音を小ブザー (最大音量) で鳴らす | |
| | BEEP3 | 検出音を大ブザー (VAR) で鳴らす | |
| | BEEP4 | 検出音を大ブザー (最大音量) で鳴らす | |
| 57:CONT ERR BEEP SW | OFF | 検出音を OFF | |
| | BEEP1 | 検出音を小ブザー (VAR) で鳴らす | |
| | BEEP2 | 検出音を小ブザー (最大音量) で鳴らす | |
| | BEEP3 | 検出音を大ブザー (VAR) で鳴らす | |
| | BEEP4 | 検出音を大ブザー (最大音量) で鳴らす | |

詳細は「3-22 . ブザー」を参照して下さい。

"50:DET-BEEP SW" : STOPCODE の検出

"51:DET-BEEP MODE" : 検出音を鳴らす条件の設定

"52:DET-BEEP ON-AIR" : ONAIR 中の検出音設定

"53:ATMT ERR BEEP SW" : ATMT 号機灯ブリンク時

"54:OPE BEEP SW" : スイッチ操作音

"55:OPE ERR1 BEEP SW" : スイッチ操作を受付けない音

"56:OPE ERR2 BEEP SW" : READY 状態からはずれ時

"57:CONT ERR BEEP SW" : 操作実行中エラー終了した時

ON AIR 設定

| メニュー | 設定項目 | 機能 | デフォルト設定 |
|-----------------------|---------|---------------------------------------|---------|
| 60:DET STOP ON-AIR | DISABLE | ON-AIR 中 PQ 検知により停止しない | |
| | ENABLE | ON-AIR 中 PQ 検知により停止する | |
| 61: PLAY/PQ-PB ON-AIR | DISABLE | ON-AIR タリ-受付時コマンドを発行しない | |
| | PLAY | ON-AIR タリ-受付時 PLAY コマンドを発行 | |
| | PQ-PB | ON-AIR タリ-受付時 PQ-PB コマンドを発行 | |
| 62:REM PLAY-C ON-AIR | DISABLE | ON-AIR 中 PLAY-C を受け付けない | |
| | ENABLE | ON-AIR 中 PLAY-C を受け付ける | |
| 63:REM PQ-PB ON-AIR | DISABLE | ON-AIR 中 PQ-PB-C を受け付けない | |
| | ENABLE | ON-AIR 中 PQ-PB-C を受け付ける | |
| 64:REM STOP ON-AIR | DISABLE | ON-AIR 中 STOP-C を受け付けない | |
| | ENABLE | ON-AIR 中 STOP-C を受け付ける | |
| 65:VTR INHI ON-AIR | DISABLE | ON-AIR 中 VTR を LOCAL DISABLE/MAP にしない | |
| | ENABLE | ON-AIR 中 VTR を LOCAL DISABLE/MAP にする* | |

* 65:VTR INHI ON-AIR について 補足

SONY 製 VTR にて ON AIR 中 VTR の LOCAL KEY 設定を MAP にするには、VTR の不揮発性 RAM 設定を変更しなければなりません。又、HDW-500 の場合は HDW-500(50P)設定時のみ対応可能です。(別売りの BKDW-509 を装着)
(例: HDW-2000 の場合は 50P の 22ピンを MAP **71,00,55,FC,03,00** にする)

REM-1 設定

| メニュー | 設定項目 | 機能 | デフォルト設定 |
|----------------------|--------------|---|---------|
| 70:REM-1 STATUS OUT | REM | VTR が REM 時のみ REM-1 STATUS を出力 | |
| | LOC&REM | VTR が LOC 時にも REM-1 STATUS を出力 | |
| 71:REM-1 REC-C SEL | REC-C | REC-C を受けると REC する | |
| | REC-C&PLAY-C | REC-C と PLAY-C を同時に受けると REC する | |
| 72:REC-C TCG PRESET | DISABLE | REM-1 REC 時 TCG-PRESET しない | |
| | 09:59:45:00 | REM-1 REC 時 00:59:45:00 を PRESET する | |
| | 09:59:45:00 | REM-1 REC 時 09:59:45:00 を PRESET する | |
| 74:REM STOP MODE SEL | STOP | STOP-C を受けると STOP する | |
| | STILL | STOP-C を受けると STILL する | |
| 75:REM STOP- S SEL | STOP&STBY | VTR 停止中かつドラムが回転中 STOP-S を出力 | |
| | STOP | VTR 停止中 STOP-S を出力 | |
| 76:VTR INHI REM-1 | DISABLE | REM-1 中 VTR を LOCAL DISABLE/MAP にしない | |
| | ENABLE | REM-1 中 VTR を LOCAL DISABLE/MAP にする* | |
| 77:ERROR-S SEL | NORMAL | I ² -発生時常に上位へ ERROR-S を通知する | |
| | REM-SW | I ² -状態で REM-1 釦点灯時上位へ ERROR-S を通知する | |
| 78:LOCAL TAPE STS | DISABLE | LOCAL 時 TAPE THREAD を出力しない | |
| | ENABLE | LOCAL 時 TAPE THREAD を出力する | |

* 72:REC-C TCG PRESET について 補足

REC-C TCG PRESET は REC-C を受けると MENU で設定した値を TCG PRESET して INT TC REC RUN 動作をします。

TCG PRESET の COLOR FRAMING は OFF を設定します。

TCG PRESET の DF/NDF は DF モードを設定します。

MENU「38:REC TCG DELAY」により TCG PRESET 後の REC-C 送信ディスプレイ設定が可能です。DEFAULT は 10F です。

実際に REC 動作するまでは DEFAULT 時、PRESET 時間を含め約 1 秒程掛かります。

* 76:VTR INHI REM-1 について 補足

REM-1 中 VTR の LOCAL KEY 設定を MAP するには、VTR の不揮発性 RAM 設定を変更しなければなりません。又、HDW-500 の場合は HDW-500(50P)設定時のみ対応可能です。(別売りの BKDW-509 を装着)

(例：HDW-2000 の場合は 50P の 22ピンを MAP **71,00,55,FC,03,00** にする)

その他の設定

| メニュー | 設定項目 | 機能 | デフォルト設定 |
|----------------------|-----------------------|---------------------------------|-----------|
| 80:RIS FORWARD TIME | 00:00:00S ~ 23:59:59S | RIS の送り時間設定 | 00:00:55S |
| 81:RIS FWD SPEED | 00 ~ 99 | RIS の送り速度設定 10=1 倍速, 99=MAX | 40 |
| 82:RIS STOP TRIM | -30F ~ 30F | RIS 完了での VTR 停止位置の微調整 | -6F |
| 83:RIS END CTL RESET | DISABLE | RIS 完了時 VTR の CTL を RESET しない | |
| | ENABLE | RIS 完了時 VTR の CTL を RESET する | |
| 84:RIS END PQ-REC | DISABLE | RIS 完了の REC で自動的に PQ-REC しない | |
| | ENABLE | RIS 完了の REC で自動的に PQ-REC する | |
| 85:AUTO PQ-REC TIME | 08S00F ~ 15S00F | REC 開始からの STOPCODE 記録開始時間設定 | 11S00F |
| 90:TEST REC TIME | 00:00:00S ~ 23:59:59S | TEST REC の記録時間設定 | 00:01:00S |
| 91:TEST REC PRESET | 00:00:00S ~ 23:59:59S | TEST REC 時 PRESET する TC 値を設定 | 00:58:50S |
| 92:TEST REC TCG SET | DISABLE | TEST REC 時 PRESET しない | |
| | ENABLE | TEST REC 時 PRESET する | |
| 93:TEST REC SEL | DISABLE | TEST REC 時スイッチャになにもしない | |
| | ENABLE | TEST REC 時スイッチャを TEST に固定 | |
| A0:REM-1 LINE SEL | DISABLE | REM-1 時スイッチャになにもしない | |
| | ENABLE | REM-1 時スイッチャを LINE に固定 | |
| A1:REM-2 LINE SEL | DISABLE | REM-2 時スイッチャになにもしない | |
| | ENABLE | REM-2 時スイッチャを LINE に固定する | |
| A2:EDIT SWITCHER SEL | DISABLE | EDIT 時スイッチャになにもしない | |
| | LINE | EDIT 時スイッチャを LINE に固定する | |
| | DUB | EDIT 時スイッチャを DUB に固定する | |
| B0:LINE AUDIO IN SEL | ANALOG | LINE 時、VTR 音声入力信号をアナログにする | |
| | AES | LINE 時、VTR 音声入力信号を AES にする | |
| | SERIAL | LINE 時、VTR 音声入力信号をシリアルにする | |
| B1:DUB AUDIO IN SEL | ANALOG | DUB 時、VTR 音声入力信号をアナログにする | |
| | AES | DUB 時、VTR 音声入力信号を AES にする | |
| | SERIAL | DUB 時、VTR 音声入力信号をシリアルにする | |
| C0:LOCAL OUT SEL | TAPE | LOCAL 時、VTR 出力信号を TAPE にする | |
| | EE | LOCAL 時、VTR 出力信号を EE にする | |
| C1:REM-1 OUT SEL | TAPE | REM-1 時、VTR 出力信号を TAPE にする | |
| | EE | REM-1 時、VTR 出力信号を EE にする | |
| C2:REM-2 OUT SEL | TAPE | REM-2 時、VTR 出力信号を TAPE にする | |
| | EE | REM-2 時、VTR 出力信号を EE にする | |
| C3:EDIT OUT SEL | TAPE | EDIT 時、VTR 出力信号を TAPE にする | |
| | EE | EDIT 時、VTR 出力信号を EE にする | |
| D0:PQ-PB D3 STP TRM | 00F ~ 30F | D3 テープでの PQ-PB STOP 停止位置の微調整 | 04F |
| D1:PQ-PB D3 STL TRM | 00F ~ 30F | D3 テープでの PQ-PB STILL 停止位置の微調整 | 05F |
| D2:RIS D3 FWD SPEED | 10 ~ 99 | D3 テープでの RIS の送り速度設定 | 99 |
| D3:RIS D3 STOP TRIM | -30F ~ 30F | D3 テープでの RIS 完了 VTR 停止位置の微調整 | -5F |
| E0:CONCEAL DET | DISABLE | CONCEAL の検出をしない | |
| | ENABLE | CONCEAL の検出をする | |
| E1:OA CONCEAL ALARM | DISABLE | OA タリ-なしでもアラームが出る | |
| | ENABLE | OA タリ-中のみアラームが出る | |
| E2:CONCEAL ON TIME | 02S ~ 17S | CONCEAL ERROR の積算判定時間設定* | 04S |
| E3:CONCEAL OFF TIME | 3S | CONCEAL の OFF 判定時間 3 秒* | |
| | 5S | CONCEAL の OFF 判定時間 5 秒 | |
| E4:OA SERVO ALARM | DISABLE | PLAY モードのサーボアラームに OA タリ-条件を入れない | |
| | ENABLE | PLAY モードのサーボアラームに OA タリ-条件を入れる | |

* E2:CONCEAL ON TIME、E3:CONCEAL OFF TIME について補足
 CONCEAL ERROR について約毎秒ステータスセンスを行い、当該 Bit が立っていたら設定条件により ERROR を出力します。
 EXTENDED_ERROR_STATUS コード (1A.F3.FF) の「CONCEAL VIDEO」と「CONCEAL AUDIO」ビットを受信して ALARM 判定します。
 判定条件は CONCEAL VIDEO と CONCEAL AUDIO ビットが MENU 「E2:CONCEAL ON TIME」設定時間「2～17 秒」(デフォルト 4 秒) ERROR が積算されたら CONCEAL ERROR とします。
 MENU「E3:CONCEAL OFF TIME」設定時間「3 or 5 秒」(デフォルト 3 秒) ERROR が無かったら CONCEAL ON TIME の積算時間値をリセットします。
 ERROR 検出後、ATMT エラー音を出すと共に ENTRY を点滅させ、ERROR-S を出力します。この時、号機灯は点滅します。
 設定時間以上連続して「CONCEAL VIDEO」と「CONCEAL AUDIO」ビットが立っていなかった場合 (ERRER 無しだった場合) 号機灯は点灯に戻ります。
 ブザー音、ENTRY 点滅、ERROR-S 出力は ENTRY スイッチを押さない限り出力されます。

SYSTEM 設定

| メニュー | 設定項目 | 機能 | デフォルト設定 |
|--------------------|-----------------|-----------------------------------|-----------------|
| F0:UNIT ID | 1~8 | 機器番号を設定します | 1 |
| F1:IP ADDRESS | xxx.xxx.xxx.xxx | Ether NET の IP ADDRESS を設定します | 192.168.001.240 |
| F2:IP SUBNET MASK | xxx.xxx.xxx.xxx | Ether NET の IP SUBNET MASK を設定します | 255.255.255.000 |
| F3:MAC ADDRESS | 表示のみ | Ether NET の MAC ADDRESS を表示します | 機器に依ります |
| F4:VTR STS MONI | 表示のみ | 各種 VTR ステータス | 00 |
| F5:LEVEL MONI | 表示のみ | 各種 LEVEL ステータス | 00 |
| F6:I/O CHECK MODE | 000~999 | メンテナンスでの機器テスト等で使用します | 00 |
| F7:F/W UPDATE MODE | DISABLE | 通常設定 | |
| | ENABLE | ファームウェアバージョンアップ等で使用します | |
| | SILENT | ファームウェアバージョンアップ等で使用します(静音モード) | |

F0:UNIT ID について

機器番号管理等で使用します。

F1:IP ADDRESS について

デフォルト時 “ 192.168.001.250 ” に設定されています。

複数の機器を LAN 接続する場合、機器毎に違う IP アドレスを設定して下さい。

F2:IP SUBNET MASK について

デフォルト時 “ 255.255.255.000 ” に設定されています。

サブネットマスクを設定して下さい。

F3:MAC ADDRESS について

Ethernet カード固有の物理アドレスです。
物理アドレスが表示されます。

F4:VTR STS MONI について

メンテナンスで使用します。
各種の VTR ステータスが表示されます。

F5:LEVEL MONI について

メンテナンスで使用します。
VTR の映像・音声入出力レベル値が表示されます。

F6: I/O CHECK MODE について

メンテナンスで使用します。

設定“ >020 : Led All ”でフロントパネルの全 LED チェックが出来ます。
ランプが正常に機能しているか確認するのに便利です。

設定“ >030 : Sw Panel ”でフロントパネルの全 SW チェックが出来ます。
各スイッチが正常に機能しているか確認するのに便利です。

設定“ >040 : Beep 1 ” ~ “ >043 : Beep 4 ” でフロントパネルのブザー音
チェックが出来ます。

ブザーが正常に機能しているか確認するのに便利です。

設定“ 050 : Ref Io ” で REF チェックモードに入ります。

機能を抜ける場合は EXIT 釦を押してください。

REF 入力があるとき“ 02 ” ない場合“ 03 ” 表示になります。

設定“ >061 : CueTone On ” で CUE TONE チェックモードに入ります。

機能を抜ける場合は EXIT 釦を押してください。

CUE TONE 信号を発生します。

CUE TONE 信号のレベルを確認することができます。

設定“ 070 : GPI Test ” で REM-1 スルーチェックモードに入ります。

機能を抜ける場合は EXIT 釦を押してください。

REM-1 スルーチェックモードに入ると、押したスイッチに対しての
TALLY LED がそのまま返り点灯します。

外部 REMOTE 等のスイッチ入力及びパラレル接点出力の動作確認を
するのに便利です。

設定“ 080 : ReBoot Test ”で SET 釦を押すことによりファームリスタートモードに入ります。(CPU のシステムリセットを行います。)

設定“ 081 : SysErr Test ”で SET 釦を押すことにより SYSTEM ERROR 疑似発生モードに入ります。機能を抜ける場合には、電源を再投入してください。

F7: F/W UPDATE MODE について

LAN によるリモートメンテナンスで使用します。

ファームウェアの更新や設定情報の読み書き等で使用します。

7-2 . MENU の初期化について

本ユニット電源投入時に ENTRY スイッチと LINE スイッチを同時押しで立ち上げると、MENU 設定項目が工場出荷時設定にイニシャライズされます。

電源投入時、ENTRY と LINE 以外のスイッチは押さないように注意して下さい。

7-3 . ERROR 表示について

エラーが発生した場合 LCD 表示器にエラーコードを表示します

ERROR 表

| エラー表示 | エラー内容 | 処置内容 |
|------------------|--|------|
| E1010:EXT REF ER | 本機への REF が入力されていない | A |
| E1020:VTR COM ER | VTR との RS422 通信でエラーが発生しました | A |
| E1030:EDT COM ER | EDIT と VTR 間で通信断になりました | A |
| E1040:RM2 COM ER | REM2 と VTR 間で通信断になりました | A |
| E1050:SNS ER**** | 周期センス(TcExt/Int,RecInhi,Unity 状態等)エラーです | A |
| E1051:VTR H/W ER | VTR のハードウェア異常 | B |
| E1052:VTR LOC ER | VTR が LOCAL になっています | A |
| E1053:VTR REF ER | VTR に REF が入力されていない | A |
| E1054:VTR SVO ER | Pana Servo err (松下のみ) | B |
| E1055:VTR CCL ER | Pana Conceal err (松下のみ) | B |
| E1060:50P OFF ER | VTR の REM50P が OFF になっています (SONY のみ) | A |
| E1061:50P LOC ER | VTR の REM50P が Local になっています (SONY のみ) | A |
| E2010 ~ E2041 | 操作エラーです | A |
| E9010 ~ E9053 | コマンド 通信 エラー完了 (PANEL 及び REM1 操作によるコマンド通信等) | A |
| SYSTEM ERROR ~ | 自己診断テストで H/W 故障や致命的エラーが発生しました。 | C |

NOTE . A 操作手順、設置条件、接続ケーブル等を点検して下さい。

B 点検して下さい。症状によっては VTR の修理を依頼して下さい。

C 本機の修理を依頼して下さい。

"****"はサービスマンコードです

8 . その他の機能

8-1 AUTO EDIT 自動解除機能について

- (a) ATMT が VTR と制御状態になると VTR のコントロール 祢で設定したイサト、アッヅル状態を解除します。

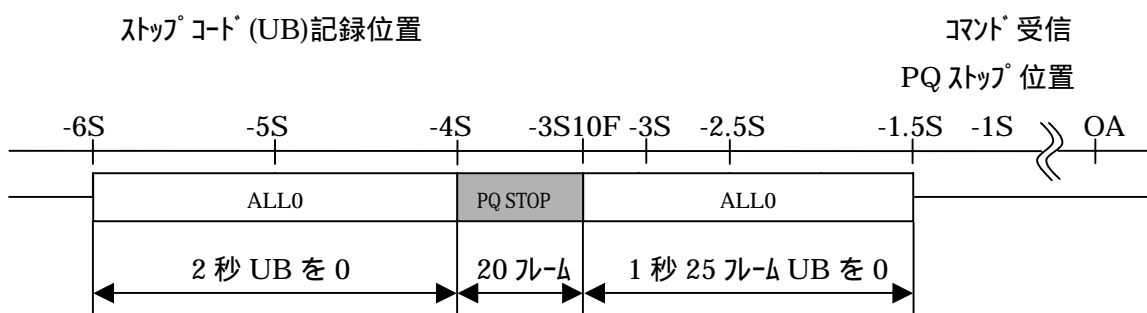
8-2 アラーム機能について

- (a) OA タリー入力で LOCAL スヱツ又は EDIT スヱツ又は REM-2 を押すと、アラームが鳴り、ENTRY ランプが点滅します。
- (b) アラームが鳴っているとき ENTRY スヱツを押すと、アラームが止まり、ENTRY ランプは消灯します。
- (c) VTR が LOCAL になっている間アラームが鳴ります。アラームが鳴っている時 ENTRY スヱツを押すと、アラームが止まります。
- (d) アタッチメントに正規のリァリス信号が入力されていない時、アラームが鳴ります。アラームが鳴っている時「ENTRY」スヱツを押すと、アラームが止まります。
- (e) アタッチメントが REM-1 または EDIT または REM-2 の時に UNITY スヱツを押すとアラーム音が鳴ります。
- (f) アタッチメントが REM-1 または EDIT または REM-2 の時に REC INH スヱツを押すことにより、アラーム音が鳴ります。
- (g) READY 状態でアタッチメント LOCAL または EDIT または REM-2 にすることによりアラームが鳴ります。
- (h) (g)の場合 REM-1 スヱツを押すことにより、アラーム音が止まり、ENTRY ランプは消灯します。
- (i) PQ-REC または PQ-ERASE 時に CTL エラーが発生するとアラームが鳴ります。

9. PQフォーマット

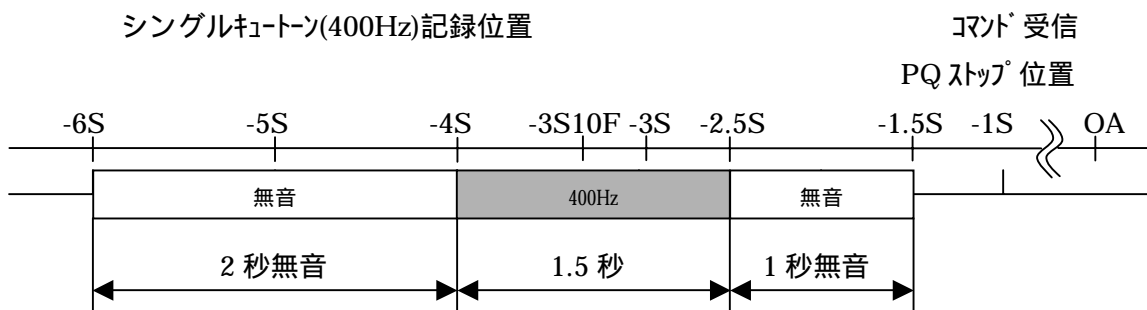
9-1. HDD5-VTR のストップコード記録フォーマット

| | |
|----------|---|
| 種類 | : SMPTE のタイムコード、ドロップフレームコード (LTC の1-ビットを使用) |
| 記録トラック | : タイムコードトラック |
| 記録位置 | : 下記参照 |
| 記録/再生レベル | : 2.4Vp-p(10K)/2.4Vp-p(H inp) |
| 停止位置 | : ON AIR 開始点 |



9-2. HDD5-VTR の確認用キーン記録フォーマット

| | |
|--------|------------------|
| 種類 | : トップキーン (400Hz) |
| 記録トラック | : キーントラック |
| 記録位置 | : 下記参照 |
| 記録レベル | : +4dBm |
| 停止位置 | : ON AIR 開始点 |



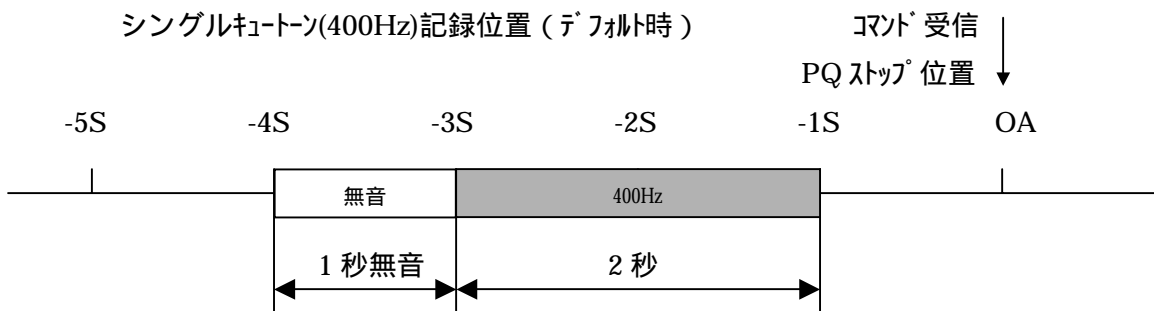
9-3 . HDCAM-VTR のストップ コード 記録フォーマット

種類 : SMPTE のタイムコード、ドロップ フレームモード (LTC の1-ザ-ズビットを使用)
 記録トラック : タイムコードトラック
 記録位置 : 下記参照
 記録 / 再生レベル : 2.4Vp-p(10K)/2.4Vp-p(H inp)
 停止位置 : ON AIR 開始点



9-4 . HDCAM-VTR の確認用キョー記録フォーマット

種類 : トップキョー (400Hz)
 記録トラック : キョートラック
 記録位置 : 下記参照
 記録レベル : +4dBm
 停止位置 : ON AIR 開始点



9-5 . ストップコードの記録データ内容

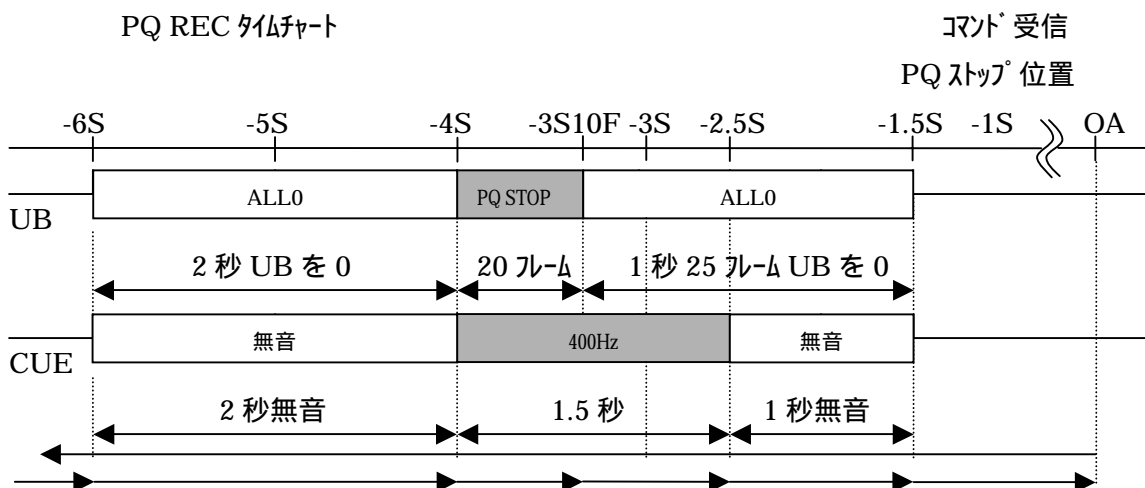
ユーザースピットの STOP CODE 一覧表

| TIME CODE | BG8-7 (チェックサム) | BG6-5 (データー通しNo) | BG4-3 (コードタイプ) | BG2-1 (スタートコード) |
|-----------|----------------|------------------|----------------|-----------------|
| 00 | 0xDA | 0x13 | 0x13 | 0xFF |
| 01 | 0xDB | 0x12 | 0x13 | 0xFF |
| 02 | 0xDC | 0x11 | 0x13 | 0xFF |
| 03 | 0xDD | 0x10 | 0x13 | 0xFF |
| 04 | 0xDE | 0x0F | 0x13 | 0xFF |
| 05 | 0xDF | 0x0E | 0x13 | 0xFF |
| 06 | 0xE0 | 0x0D | 0x13 | 0xFF |
| 07 | 0xE1 | 0x0C | 0x13 | 0xFF |
| 08 | 0xE2 | 0x0B | 0x13 | 0xFF |
| 09 | 0xE3 | 0x0A | 0x13 | 0xFF |
| 10 | 0xE4 | 0x09 | 0x13 | 0xFF |
| 11 | 0xE5 | 0x08 | 0x13 | 0xFF |
| 12 | 0xE6 | 0x07 | 0x13 | 0xFF |
| 13 | 0xE7 | 0x06 | 0x13 | 0xFF |
| 14 | 0xE8 | 0x05 | 0x13 | 0xFF |
| 15 | 0xE9 | 0x04 | 0x13 | 0xFF |
| 16 | 0xEA | 0x03 | 0x13 | 0xFF |
| 17 | 0xEB | 0x02 | 0x13 | 0xFF |
| 18 | 0xEC | 0x01 | 0x13 | 0xFF |
| 19 | 0xED | 0x00 | 0x13 | 0xFF |

10 . PQ REC シーケンス

10-1 . HDD5-VTR が STOP の時 (パラレル制御・スイッチ入力)

VTR が動作を開始すれば、PQ REC ランプを点灯します。
 書き込み位置の手前へ移動します。(MENUにより書き込み位置の設定可能)
 VTR をイサートモードにして、PLAY します。
 この位置より、1-ザ-ズビットに ALL0 を、CUEトラックに無音を記録します。
 2 秒後、1-ザ-ズビットに STOP CODE を記録すると共に、CUEトラックに PQ 音
 (400Hz) を記録します。(MENU30:PQ-REC TIME により-1S ~ -31S まで
 PQ 記録位置の設定が可能です。 下図はデフォルト-4S)
 2 秒 20 フレーム後、1-ザ-ズビットに ALL0 を記録します。
 3.5 秒後、CUEトラックに無音を記録します。
 4.5 秒後、VTR を STOP します。
 引き続き記録した STOP CODE を PQ PB することもできます。
 (MENU 設定により可能)
 スタグ かり PQ REC を OFF し、PQ REC ランプを消灯します。



10-2 . HDCAM-VTR が STOP の時 (パルル制御・スイッチ入力)

VTR が動作を開始すれば、PQ REC ランプを点灯します。

書込み位置の手前へ移動します。

VTR をイサトトにして、PLAY します。

この位置より、1-ザ-ズビットに STOP CODE を 20 フレム間記録すると共に CUE
トラックに 1 秒間無音を記録します。(MENU30:PQ-REC TIME により-1S ~ -31S
まで設定可能です。 下図はデフォルト-4S)

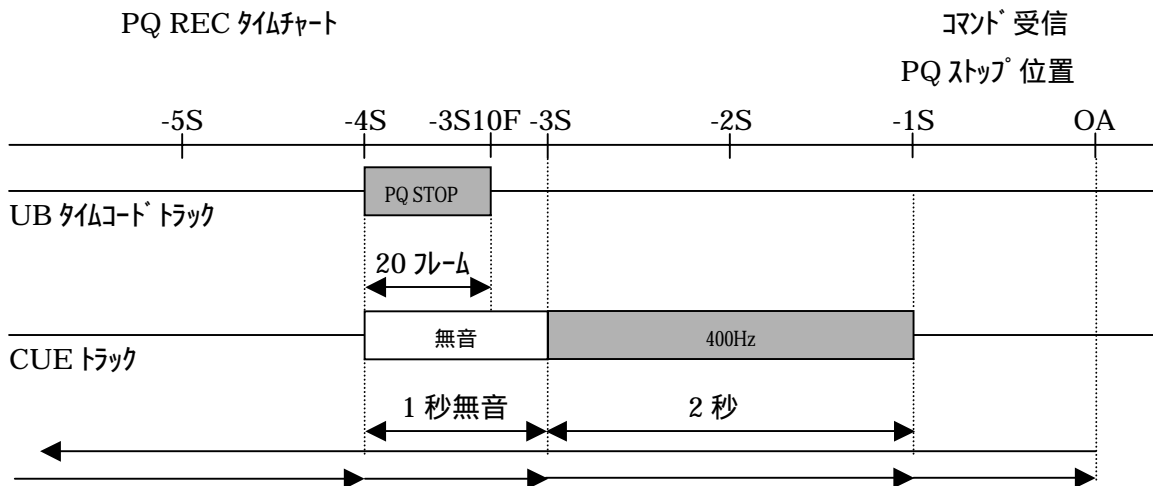
1 秒後、CUE トラックに PQ 音 (400Hz) を 2 秒間記録します。

4 秒後、VTR を STOP します。

引き続き記録した STOP CODE を PQ PB 確認することもできます。

(MENU「36:PQ-REC PLAYBACK」設定により可能)

スタジオ- PQ REC を OFF し、PQ REC ランプを消灯します。



11 . PQ PB シーケンス

11-1 . PQ PB (パラレル制御・スイッチ入力)

VTR に PLAY を指示します。

VTR が PLAY すると共に、PQ PB ランプを点灯し、スタジオ-PQ PB 中を ON にします。

1-ザ-ズビットの STOP CODE を検出します。

1-ザ-ズビットの STOP CODE の終了より 10F 後 (STOP CODE の開始点より 1 秒後) ~ 30 秒 10F 後 (STOP CODE の開始点より 31 秒後) の範囲内で停止させることが可能です。(MENU「40:PQ-PB UP TIME」で設定した位置に STOP します デフォルト設定 0 秒)

PQ PB ランプを消灯し、スタジオ-PQ PB 中を OFF します。次にスタジオ-PQ PB 完を ON し、PQ PB 完ランプを点灯します。

CTL カウンターを MENU「45:PQ-PB CTL PRESET」設定により PRESET します。(設定範囲は 0S ~ -30S まで可能 デフォルト 0S)

12 . TEST REC シーケンス

12-1 . TEST REC (スイッチ入力)

VTR が動作を開始すれば、TEST REC ランプを点灯します。

VTR の VIDEO IN / AUDIO IN を VTR 内部に設定します。

MENU「93:TEST REC SEL」設定によります。

VTR に REW を指示します。

VTR がテープ始端で STOP します。

VTR の TCG の TC を MENU「92:TEST REC TCG SET」が「ENABLE」時、MENU「91:TEST REC PRESET」で設定した時間で PRESET します。
(デフォルト設定 00:58:50:00)

VTR を REC します。

VTR が REC になって、MENU「90:TEST REC TIME」で設定した時間後 STOP します。(デフォルト設定 60 秒)

VTR の VIDEO IN / AUDIO IN を戻し、TEST REC ランプを消灯します。

13 . RIS シーケンス

13-1 . RIS (パラレル制御・スイッチ入力)

スラッシュリ- RIS 中を ON すると共に、RIS ランプを点灯します。

VTR に REW を指示します。

VTR がテープ始端で STOP します。

VTR が STOP した位置より、CTL を加えて MENU「81:RIS FORWARD TIME」で設定した時間 - 5 秒後の位置に 4 倍速で移動します。(デフォルト 55 秒)

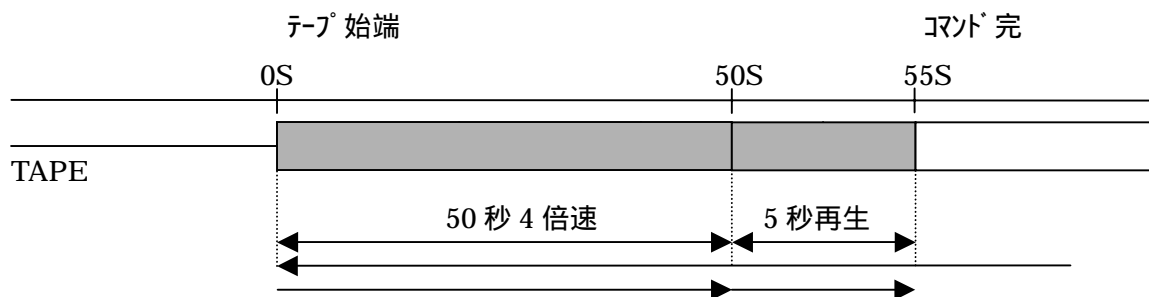
RIS 実行時 CTL が記録されてない (5 秒以上記録されていない) 場合は、アラーム音「ピピピッ!」を鳴らし STOP します。

5 秒間 PLAY します。

VTR を STOP します。

MENU「82:RIS END CTL RESET」により、VTR の CTL を「00:00:00:00」にリセットすることが可能です。

スラッシュリ- RIS 中を OFF し、RIS 完を ON します。又、RIS ランプを消灯し RIS 完ランプを点灯します。



13-2-1 . HDD5-VTR での RIS 完了後の REC による自動 PQ REC (パルル制御)

MENU「84:RIS END PQ-REC」設定により、RIS 完了後 REC することにより自動 PQ REC を行います。

マント受信により VTR は REC を開始します。

2 秒後、PQ REC ランプを ON します。

9 秒後、1-ザ-ズビットは ALL0 を、CUE トラックには無音を記録します。

11 秒後、1-ザ-ズビットに STOP CODE を記録すると共に、CUE トラックに PQ 音 (400Hz) を記録します。

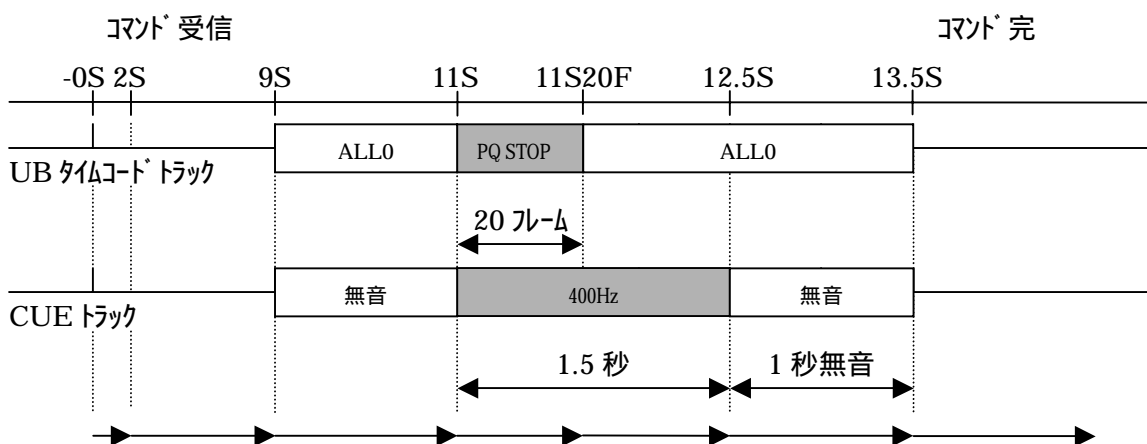
MENU「85:AUTO PQ-REC TIME」により REC 開始からの STOPCODE 記録開始時間設定が可能です。(デフォルトは 11 秒)

11 秒 20 フレーム後、1-ザ-ズビットに ALL0 を記録します。

12.5 秒後、CUE トラックに無音を記録します。

13.5 秒後、スタンバイ-PQ REC を OFF すると共に PQ REC ランプを消灯します。

VTR は REC を継続します。(TCG の UB フレーム設定は元に戻しています)



13-2-2 . HDCAM-VTR での RIS 完了後の REC による自動 PQ REC (パルル制御)

MENU「84:RIS END PQ-REC」設定により、RIS 完了後 REC することにより自動 PQ REC を行います。

コソト受信により VTR は REC を開始します。

2 秒後、PQ REC ランプを ON します。

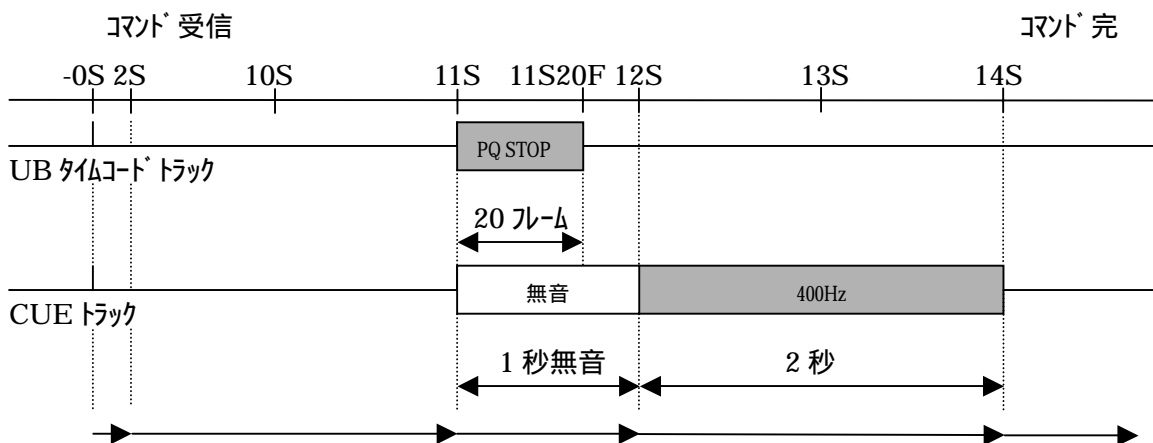
11 秒後、1-ザ-ズビットに STOP CODE を 20 フレム間記録すると共に、CUE トラックに無音を 1 秒間記録します。

MENU「85:AUTO PQ-REC TIME」により REC 開始からの STOPCODE 記録開始時間設定が可能です。(デフォルトは 11 秒)

12 秒後、CUE トラックに PQ 音 (400Hz) を 2 秒間記録します。

14 秒後、ストップコード PQ REC を OFF すると共に PQ REC ランプを消灯します。

VTR は REC を継続します。(TCG の UB スループ設定は元に戻しています)



14 . 一般仕様

14-1 . 一般

| | |
|------|---|
| 電源 | : AC100V ±10%、50/60Hz |
| 消費電力 | : 50VA 以下 |
| 動作温度 | : 5 ~ 40 |
| 使用湿度 | : 20% ~ 80% |
| 外形寸法 | : 480 × 88 × 400mm (幅 / 高さ / 奥行き) (突起部を除く) |
| 質量 | : 約 7Kg |

14-2 . 入出力

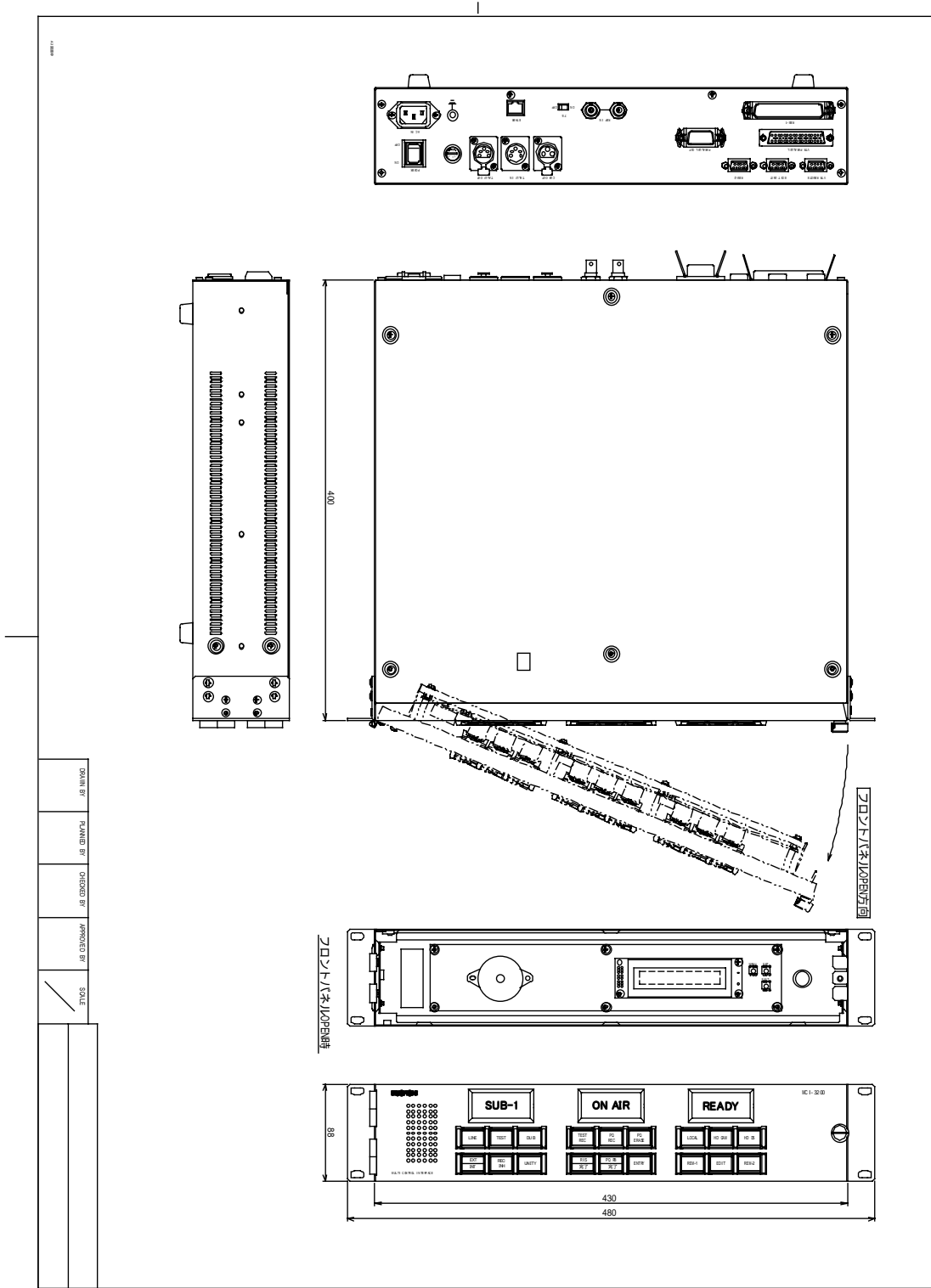
| | |
|--------------|--|
| REM-1 | : フォトカブラ受け、メイク接点出力 |
| VTR PARALLEL | : フォトカブラ受け、オープンコレクタ出力 |
| PARALLEL OUT | : メイク接点出力 |
| VTR REMOTE | : RS-422 シリアルポート |
| EDIT UNIT | : RS-422 シリアルポート |
| REM-2 | : RS-422 シリアルポート |
| REF IN | : 3 値 SYNC 0.6V(75)、525i / 59.94 B.B 0.45V(75) |
| CUE OUT | : +4dBm |
| TALLY IN | : フォトカブラ受け |
| TALLY OUT | : メイク接点出力 |

14-3 . 付属品

| | |
|--------------------------------------|---------|
| : AC 電源コード | × 1 |
| : AC 電源コード 抜け止め金具 (装着済み) | × 1 |
| : ラックイヤー (装着済み) | × 1 セット |
| : 取扱説明書 | × 1 |
| : 保証書 | × 1 |
| : 号機灯フィルム (「V-1」 ~ 「V-10」, 「HD-CAM」) | × 1 |
| : スライドレールキット | × 1 セット |
| : VTR 接続用 9pin ケーブル (1.5m) | × 1 |
| : VTR 接続用 50pin ケーブル (1.5m) | × 1 |

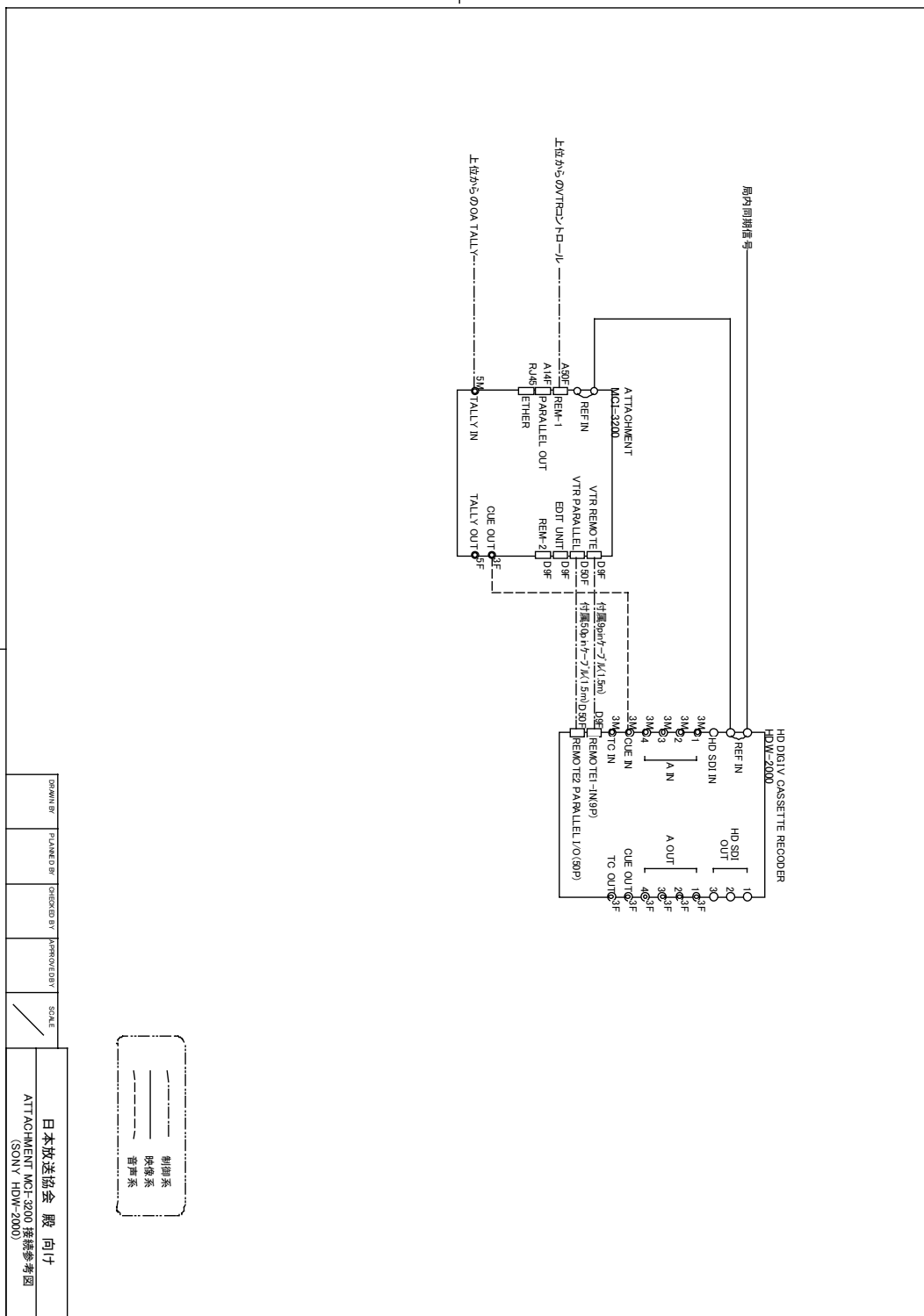
50pin ケーブルは SONY 製 VTR (HDCAM) のみ使用します。

15. 外觀図

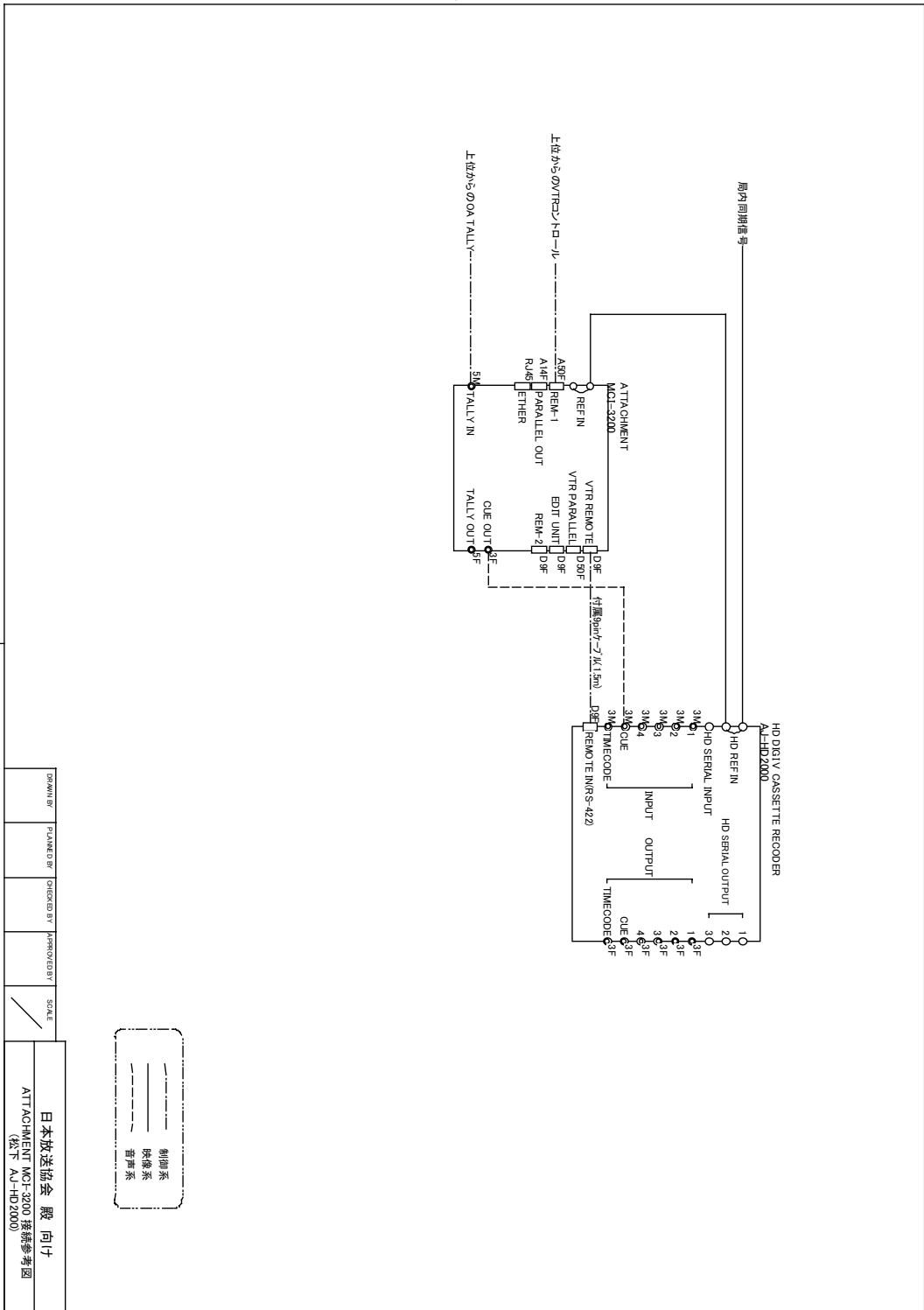


16 . 接続例

16-1 . SONY 製 VTR (HDW-2000) との接続例



16-2 . 松下製 VTR (AJ-HD2000) との接続例



17 . 各 VTR 設定の違いと注意点

17-1 . 各 VTR の動作タイミング及び UNITY 動作について

- (a) PQ-REC の EDIT 開始点、終了点、ユーザーズビットのプリセット開始点、PQ-PB 時の停止タイミング、RIS 動作等、各 VTR により動作タイミングが違います。MCI-3200 では MENU 「02:FORMAT SEL」により VTR を選択することで VTR に最適な動作タイミングのパラメーター値がデフォルトとして設定されます。詳細は 36 ページの「VTR 設定一覧表」を参照して下さい。

更にタイミングを微調整したい場合等、MENU の各パラメーターは個別にデフォルト以外の値に変更することは可能ですが、PQ-REC TRIM 系のタイミングなどは注意が必要です。(デフォルト値を推奨しています)

- (b) MCI-3200 には VTR の VIDEO 及び AUDIO の入出力レベルが UNITY であるか監視・設定する機能がありますが、各 VTR により監視・設定が出来ないパラメーターが存在します。詳細は 37 ページ「VTR の UNITY 判定一覧表」を参照して下さい。
- 又、SONY 製 VTR の場合、デフォルトでは UNITY スイッチは操作出来ません。操作したい場合は、MENU 「06:UNITY SW MASK」を“OFF”に設定して下さい。

17-2 . SONY 製 VTR (HDW-500) について

- (a) MENU005 SERVO REF 「 auto 」 デフォルトの場合 REC 時は INPUT に LOCK しますが、再生では EXT に LOCK します。INPUT に VIDEO を入っていないと REF ERR のアラームが上がりますのでご注意ください。
対策としては、INPUT に必ず映像を入れるか、MENU005 SERVO REF 「 ext 」に変更して下さい。
- (b) CUE レベルは変更しても UNITY ランプに反映しません。
- (c) VTR 設定を HDW-500 にした場合 9PIN のみで動作します。
但し、LOCALDISABLE 時は KEY-MAP 設定が出来ませんので、MAP 設定で使用したい場合は、別売りの BKDW-509 を装着して下さい。
又、9PIN 制御のみで LOCALDISABLE 時どうしても VTR の KEY 操作をしたい場合は LOCAL に切替えてご使用下さい。
- (d) VTR 設定を HDW-500(50P)にした場合 9PIN と 50PIN 併用で動作します。
VTR の NV-RAM 設定により ON AIR や REM-1 時等、LOCALDISABLE MAP を選ぶことが可能です。(22 番ピン IN 設定を “ **71.00,0F,FC,03,00** ” にした場合) 但し、別売りの BKDW-509 を必ず装着して下さい。
各 NV-RAM 設定の詳細は、30 ページ「 6-2-2 . VTR PARALLEL コネクター (HDW-500(P)の 50PIN とストレート接続) 」を参照して下さい。
- (e) VTR 設定を HDW-500 にした場合 RECINH は 9PIN コマンドで対応しています。又、HDW-500(50P)にした場合 RECINH は 50 ピンの NV-RAM 設定により (1 番ピン IN 設定を “ **72.00,05,FE,01,00** ” にします) 対応しています。
- (f) VTR 設定を HDW-500(50P)にした場合 REMOTE9-PIN の LOCAL 状態を監視する為に 50 ピンの NV-RAM 設定が必要です。50PIN の 30 番ピン (OUT) #REEL HUB OUT REMOTE 9-PIN に変更して下さい。
(30 番ピン OUT 設定を “ **02.00,4B,01,00,00** ” にします)

17-3 . SONY 製 VTR (HDW-1800) について

- (a) (HD) SETUP 値を変更しても UNITY ランプに反映しません。
- (b) VTR の REMOTE は 9PIN と 50PIN 併用で動作します。必ず事前に VTR の NV-RAM 設定を行って下さい。詳細は、29 ページ「6-2-1 . VTR PARALLEL コネクタ-(HDW-1800 / 2000 シリーズ の 50PIN とストレート接続)」を参照して下さい。
- (c) HDW-1800 には CUE 入力専用のコネクタがありません。CUE 信号を記録したい場合は、AUDIO INPUT CH1 又は CH2 何れかに CUE を入力する必要があります。CUE トラック入力選択方法は、HDW-1800 の取扱説明書に記載されているセットアップメニュー項目 833 の「CUE AUDIO INPUT SELECT」を参照して下さい。
- (d) MCI-3200 の CUE OUT を VTR の AUDIO INPUT CH1 / CH2 のコネクタと接続しますが、VTR の XLR3 ピンコネクタがメス座になっていますのでご注意ください。(雄 雄ケーブルが必要になります)
- (e) HDW-1800 には CUE 出力専用のコネクタがありません。CUE 信号をモニターしたい場合は、MONITOR OUTPUT L 又は R 何れかに CUE を割り当てる必要があります。CUE トラック出力選択方法は、HDW-1800 の取扱説明書に記載されている 2-1 コントロールパネルのオーディオメーターブロック 1「・モニター選択」を参照して下さい。

17-4 . SONY 製 VTR (HDW-2000 シリーズ) について

- (a) (HD) SETUP 値を変更しても UNITY ランプに反映しません。
- (b) HDW-A2100 の場合は AUDIO IN 及び CUE IN の UNITY 入力レベルは監視していません。
- (c) VTR の REMOTE は 9PIN と 50PIN 併用で動作します。必ず事前に VTR の NV-RAM 設定を行って下さい。詳細は、29 ページ「6-2-1 . VTR PARALLEL コネクタ-(HDW-1800 / 2000 シリーズ の 50PIN とストレート接続)」を参照して下さい。

17-5 . 松下製 VTR (AJ-HD3730) について

- (a) VTR の VIDEO OUTPUT レベル調整 MENU にて SD/HD が選択出来ますが、SET UP MENU に入り、(F10) INTERFACE SETUP MENU の中の (F11) V.LEV.CNT にて 「 BHTH 」 を選択すると、HD と SD 両方 UNITY 設定が可能になります。又、「 NORMAL 」 or 「 SD 」 にすると SD のみ設定可能で、「 HD 」 にすると HD のみ設定可能になります。
ステータスは 「 BOTH 」 を選択すると HD のみしか読めません。
SD を読むには 「 NORMAL 」 or 「 SD 」 にします。
HD を読むには 「 HD 」 or 「 BOTH 」 に設定します
通常は 「 BOTH 」 に設定してお使い下さい。
- (b) VTR の REMOTE は 9PIN のみで動作します。
- (c) MCI-3200 の MENU 項目にある D3 専用のパラメーター設定は AJ-HD3730 のみ有効です。他の VTR では動作しません。
- (d) AUDIO IN/OUT は 8CH に対応しています。

17-6 . 松下製 VTR (AJ-580HD/AJ-HD2000/3000) について

- (a) VTR の REMOTE は 9PIN のみで動作します。
- (b) AUDIO IN/OUT は 4CH 仕様です。

17-7 . 松下製 VTR (3700H/3700A/3700B) について

- (a) VTR の REMOTE は 9PIN のみで動作します。
- (b) AUDIO IN/OUT は 8CH に対応しています。